全自動おそうじトイレ

アラウーノ

A·La·Uno

Panasonic

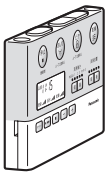
取扱説明書
温水洗浄組込型便器

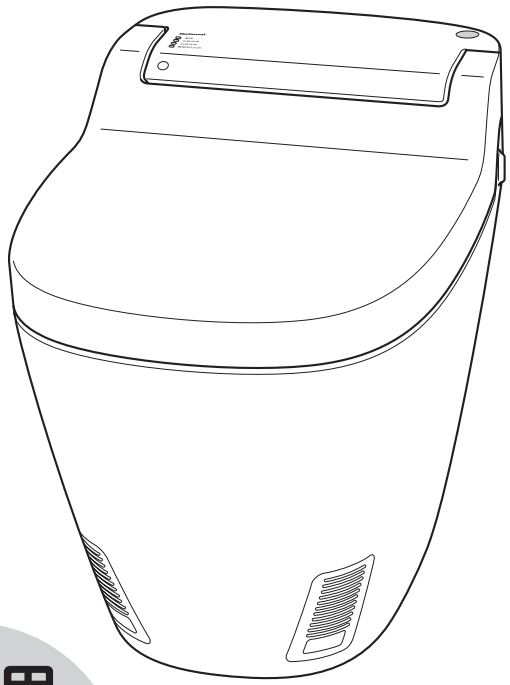
品　番	アームレストなし	アームレスト付き
＊タイプ1	CH1001△□□（7）	CH1001△M□□（7）
＊タイプ2	CH1002△□□（7）	CH1002△M□□（7）
＊タイプ3	CH1003△□□（7）	CH1003△M□□（7）
＊タイプ9	CH1009△□□（7）	CH1009△M□□（7）

△：床排水タイプ
　なし：標準　R：リフォーム　H：高層階
　壁排水タイプ
　P：標準　Z：リフォーム

□□：色品番
（7）：寒冷地仕様

このたびは、アラウーノをお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（4〜6ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。





保管用
よくお読みください
施工説明書別添付
保証書別添付

もくじ

はじめに
いつもきれいに、快適に…… 2
安全上のご注意…… 4
各部のなまえ…… 7
知っておいていただきたいこと…… 10
ご使用前の準備…… 12

使いかた
便器洗浄…… 14
便座開閉…… 16
おしり·ビデ洗浄…… 18
脱臭・乾燥…… 19
3Dサウンド CH1001のみ…… 20
便器照明 CH1001のみ…… 22
8時間切 節電 CH1003、CH1009のみ…… 22

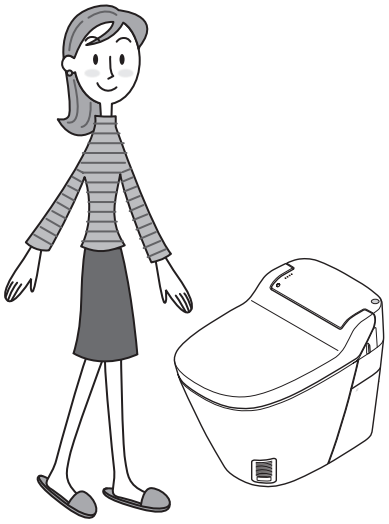
お手入れ
便座・便ふた…… 23
便器部…… 24
汚れの種類・洗剤と道具・洗浄便座部…… 25
洗浄ノズル・脱臭フィルター…… 26
脱臭吸込口・センサー部・リモコン電池…… 27
洗剤補充のしかた…… 28

こんなときは
トラブルの予防と対処方法…… 31
凍結防止…… 31
ストレーナ（ごみ取りフィルター）の掃除…… 32
長期間使用しない場合…… 33
便器が詰まった場合…… 33
停電時または断水時の便器洗浄のしかた…… 34
便器洗浄中に停電が起こった場合…… 35
万一のトラブルなどにより封水が確保できない場合…… 35
便ふた裏が結露した場合…… 35
定期点検…… 36
故障かな？…… 36
定格・仕様…… 39
保証とアフターサービスについて…… 裏表紙

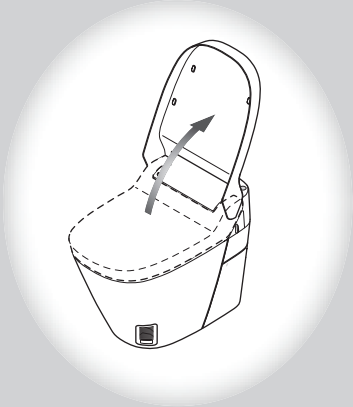
商品に関する情報は、下記ホームページにて
詳しくご紹介しています。
住まいの設備と建材のサイト
http://panasonic.jp/sumai/

いつもきれいに、快適に

1 トイレに入る



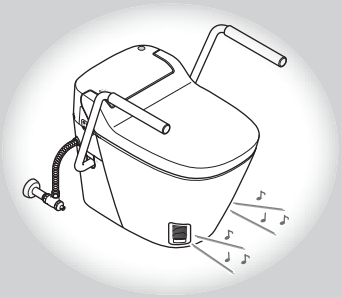
- **便ふたが自動で開きます。**
  - トイレに入ると人体センサーがはたらき、便ふたが自動で開きます。（CH1001、1002、1003のみ）



- **便座を温めます。**（自動）（CH1001、CH1002のみ）
- **便器照明が点灯します。**（自動）（CH1001のみ）
  - 自動便ふた開閉の設定 16ページ
  - 便座を開閉する 16ページ

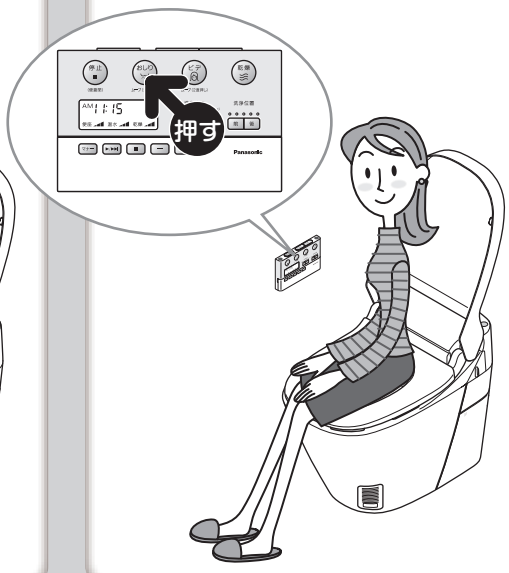
2 便座に座る

- **着座センサーで着座を検知します。**（自動）
  - 着座するとおしり・ビデ洗浄やパワー脱臭が使えるようになります。
- **脱臭がスタートします。**（自動）（オート脱臭）
- **3Dサウンドがスタートします。**（CH1001のみ）（自動）



- **洗浄ノズルを洗浄します。**（自動）（ノズル洗浄をOFFにすることはできません。）
  - 便座温度の設定 17ページ
  - 3Dサウンドの設定 20ページ
- パワー脱臭 **を押すと、パワー脱臭を約1分間行います。**（自動）
  - パワー脱臭をする 19ページ

3 おしり洗浄する



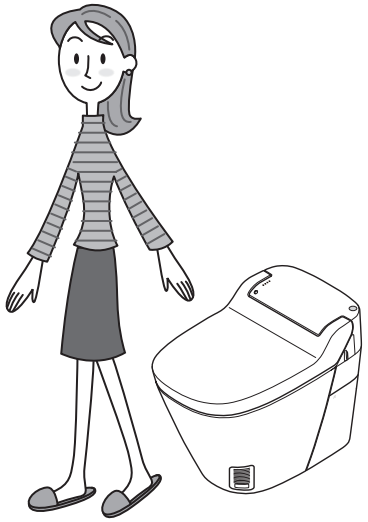
- おしり **を押すと、おしり洗浄を行います。**
  - おしり洗浄後、ノズル洗浄を行います。（ノズル洗浄をOFFにすることはできません。）
- ビデ **を押すと、ビデ洗浄を行います。**
  - ビデ洗浄後、ノズル洗浄を行います。（ノズル洗浄をOFFにすることはできません。）
- 乾燥 **を押すと、温風で乾燥します。**
- 停止 **を押すと、おしり洗浄、ビデ洗浄、乾燥が停止します。**
  - 洗浄する 18ページ
  - 洗浄強さの調整 18ページ
  - ノズル洗浄位置の調整 18ページ
  - 温水温度の設定 18ページ
  - 乾燥する・乾燥温度の設定 19ページ

全自動のひみつ……それはセンサーにあります。

アラウーノの着座センサーと人体センサーの機能については…… 11ページ

はじめましょう、アラウーノ

4 便器洗浄する



● **立ち上がってから約10秒後に自動的に便器を洗浄します。**

• 自動便器洗浄の設定
14ページ

● **リモコンで便器を洗浄することもできます。**

大 **を押すと、便器大洗浄を行います。**

小 **を押すと、便器小洗浄を行います。**

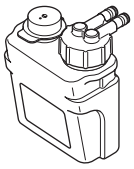
• 便器を洗浄する
14ページ

よくあるご質問

●どうやって洗浄するの？

洗剤タンクに入った洗剤の泡を使って自動で洗います。

※泡がでないのは洗剤切れです。



洗剤タンク

14ページ

●使える洗剤は？

洗剤タンク補充は台所用中性洗剤

29ページ

お手入れはトイレ用中性洗剤

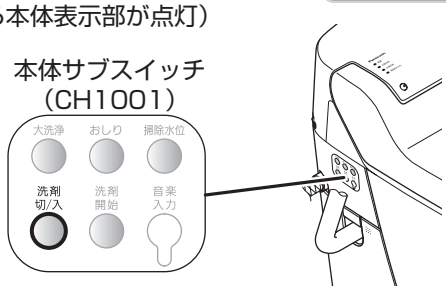
25ページ

●泡がでない！どうしたらいいの？

■洗剤が洗剤タンクに入っていますか？
→洗剤を入れてください。
28ページ

■洗剤　切/入スイッチは「入」になっていますか？
→洗剤　切/入スイッチを「入」にしてください。
（スイッチが「入」なら本体表示部が点灯）
15ページ

本体サブスイッチ
（CH1001）



●洗剤補充方法は？

洗剤タンクに台所用中性洗剤を入れてください。

28ページ

●お手入れについておしえて！

Q. 便器のお手入れ方法は？
24ページ

Q. 黒い汚れ、ピンクの汚れはどうするの？
25ページ

Q. 便器のため水を下げてお手入れする方法は？
（水位を下げられるのはお手入れの時のみです）
24ページ

安全上のご注意 必ずお守りください。

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※ここで示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は次のように区分しています。

いずれも、安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される場合

絵表示の例

記号は、**禁止**の行為であることを告げるものです。
（左図の場合は分解禁止）

記号は、行為を**強制**したり、**指示**したりする内容を伝えるものです。
（左図の場合はアース工事をする）

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告

分解禁止	■ 絶対に分解したり、修理・改造はしない 感電、火災、けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。
水場使用禁止	■ 浴室内など、湿気の多い場所、水洗い掃除ができる床には設置しない 感電や火災の原因になります。
水ぬれ禁止	■ 本体や漏電しゃ断器（プラグ付）に汚水や水をかけない 感電や火災の原因になります。
ぬれ手禁止	■ ぬれた手で漏電しゃ断器（プラグ付）に触れない 感電の原因になります。
禁　止	■ 傷んだ漏電しゃ断器（プラグ付）、ゆるんだコンセントは使用しない また電源コードを破損するようなことはしない 感電や火災の原因になります。
	■ 医用電気機器などを装着している場合は、操作リモコンを機器に近づけない 操作リモコンを医用電気機器などの近くで使用すると、磁石の影響で医用電気機器などの故障の原因となるおそれがあります。
	■ 本体、便座、便ふたやアームレストに乗ったり、ぶらさがったり強い衝撃を加えない 商品の変形や破損（割れ）したりして、転倒してけがをするおそれがあります。
	■ 本体が破損したり、故障したまま使用しない 感電、火災、水漏れの原因となります。

⚠警告

必ず守る

■ 必ず上水道に接続する
上水道以外に接続するとぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。

■ 低温やけどに注意する
便座に皮膚の同じ場所が長時間触れていると、低温やけどの原因になります。

■ 暖房便座や乾燥（CH1001、CH1002、CH1003のみ）を長時間使用する場合はやけどに注意する

次のような方が、暖房便座や乾燥をご使用になるときには、周囲の方が便座温度の設定や乾燥温度の設定を「低め」にしてあげてください。
お子様、お年寄り、ご病人、自分で温度調節のできない方、皮膚感覚の弱い方、眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方、深酒・疲労の激しい方

■ 定格15A以上交流100Vのコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

■ 漏電しゃ断器（プラグ付）にほこりが付着したら必ず取りのぞく
ほこりが付着したまま使用すると火災の原因になります。

■ 漏電しゃ断器（プラグ付）は確実に根元まで差し込む
差し込みが不完全な場合、感電や火災の原因になります。

■ コンセントから抜く場合は必ず漏電しゃ断器（プラグ付）を持つ
コードを引っ張ると破損し、感電・ショート・発火の原因になります。

アース線接続

■ アース工事を確認する
アース工事がされていないと漏電のときに感電するおそれがあります。
アース工事をお買い上げの販売店にご依頼ください。

⚠注意

禁　止

■ 便器・便座にかたいものを落とさない
便器の破損による水漏れの原因になります。便座の変形・破損の原因となります。

■ 給水ホースや排水管などに力を加えない
水漏れの原因になります。

■ 便器本体やアームレストがガタついたまま使用しない
水漏れや破損、転倒によるけがの原因になります。

■ 便ふたや本体、アームレストの上に重い物や割れ物を置かない
落下破損による水漏れの原因となります。

■ 便器洗浄ボール部以外に小水をかけない
機器の故障の原因になります。

⚠注意

禁　止

■ 便ふたに、もたれかからない
破損によるけがの原因となります。

■ 便器に熱湯（約80℃以上の）をかけない
便器の破損による水漏れの原因になります。

■ 水溜り面から便器内部にホースやかたいものなどを挿入しない
トラップ部が破損し、水漏れの原因となります。

■ 便器にトイレットペーパー以外のものは流さない
万一便器が詰まった場合は続けて洗浄操作をしない
便器から汚水があふれる原因になります。

■ 本体にヒーターなどを近づけすぎない
割れてけがをしたり、火災の原因になります。

■ 便器にタバコを捨てない
便器が破損してけがをしたり、火災の原因になります

■ 開口部（特に乾燥吹出口やスピーカー）から指や物を入れない
感電、やけど、火災の原因になります。

■ ノズル除菌クリーニング中はノズルに触れない
やけどの原因になります。

■ 酸・アルカリ性の洗剤、アルコール（エタノール、イソプロピルアルコールなど）を含む洗剤・消臭剤・掃除シート・滴下するタイプの消臭液、シンナー、ベンジン、アルコール、薬品などを使用しない
割れてけがをしたり、感電の原因になります。

■ アルコールを含む消臭剤を置かない
割れてけがをしたり、感電の原因になります。

■ 掃除の際に、電源コードを屈曲させない
コード内の芯線が断線し、異常発熱や発煙の危険があります。

必ず守る

■ 漏電しゃ断器（プラグ付）の作動を確認する
故障のまま使用すると、漏電のときに感電するおそれがあります。

■ 凍結予防する為に水抜きをし、凍結防止ヒータープラグをコンセントに差し込む（寒冷地仕様のみ、31ページ参照）
凍結すると配管、本体内部が破損して水漏れの原因になります。

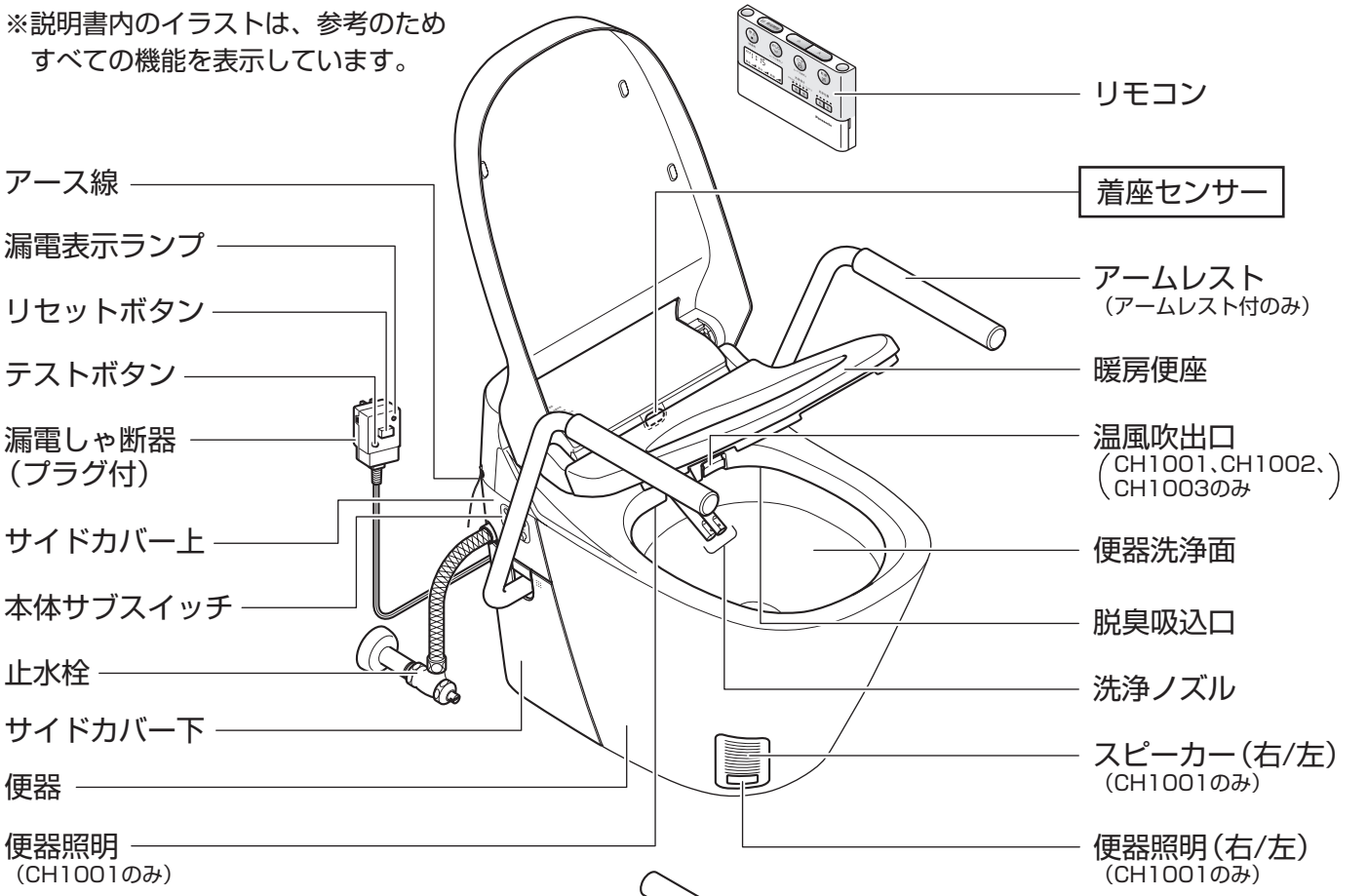
■ 長期間使用しないときは、本体の水を抜き漏電しゃ断器（プラグ付）のプラグを抜く（33ページ参照）
そのまま放置すると水の腐敗による皮膚の炎症、感電の原因になります。

■ 便座、便ふた開閉時、指などをはさまないように注意する
はさまれるとけがの原因になります。

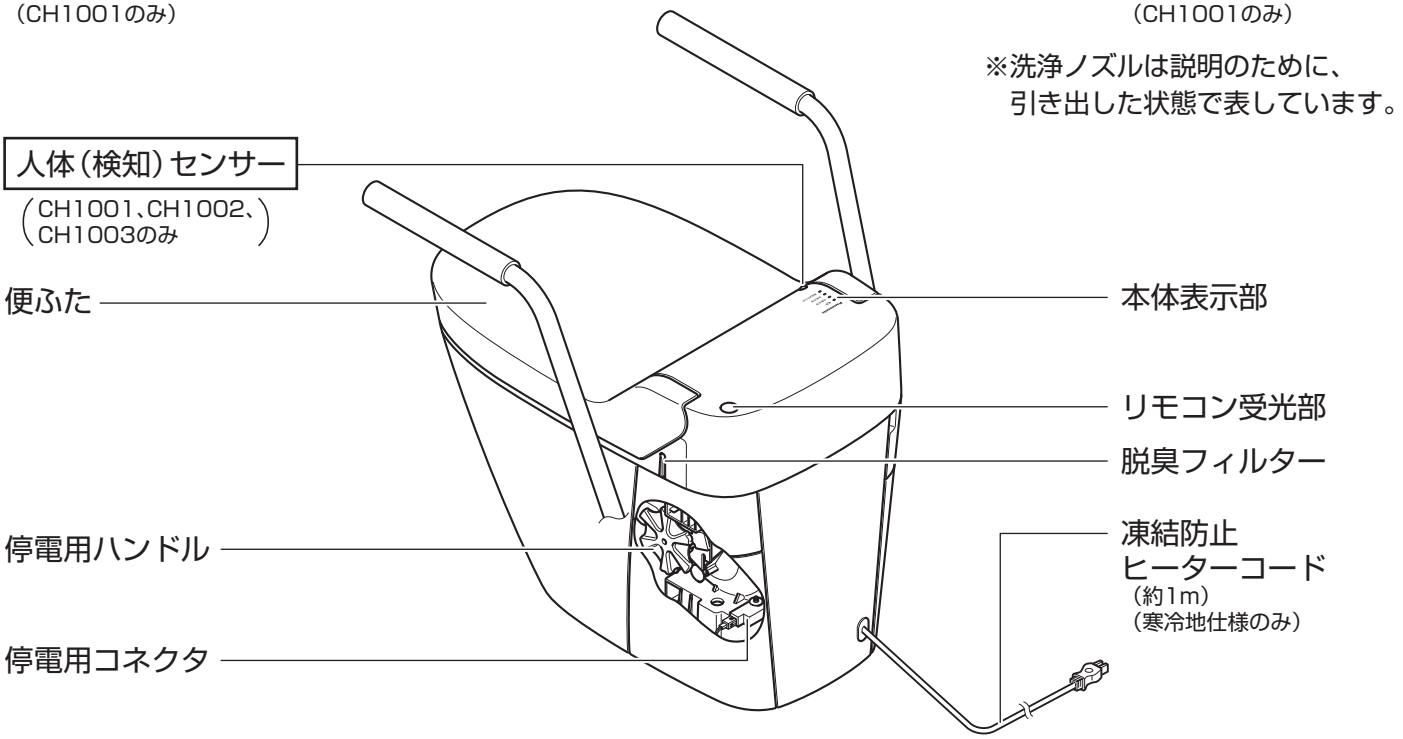
■ アームレスト使用時、アームレストは一番下までおろして使用する
アームレストはね上げ時、アームレストが止まる位置まではね上げておく（アームレスト付のみ）
中途半端な位置で使用するとけがの原因になります。

各部のなまえ

※説明書内のイラストは、参考のため
すべての機能を表示しています。



※洗浄ノズルは説明のために、
引き出した状態で表しています。



本体表示部

Panasonic

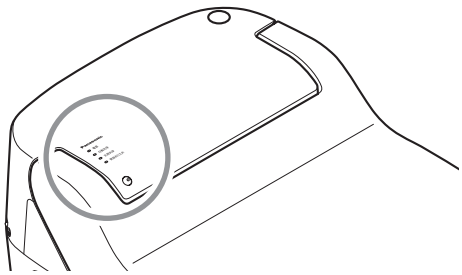
- 電源
- 自動洗浄
- 洗剤洗浄
- 便座あたため

（CH1001、CH1002）

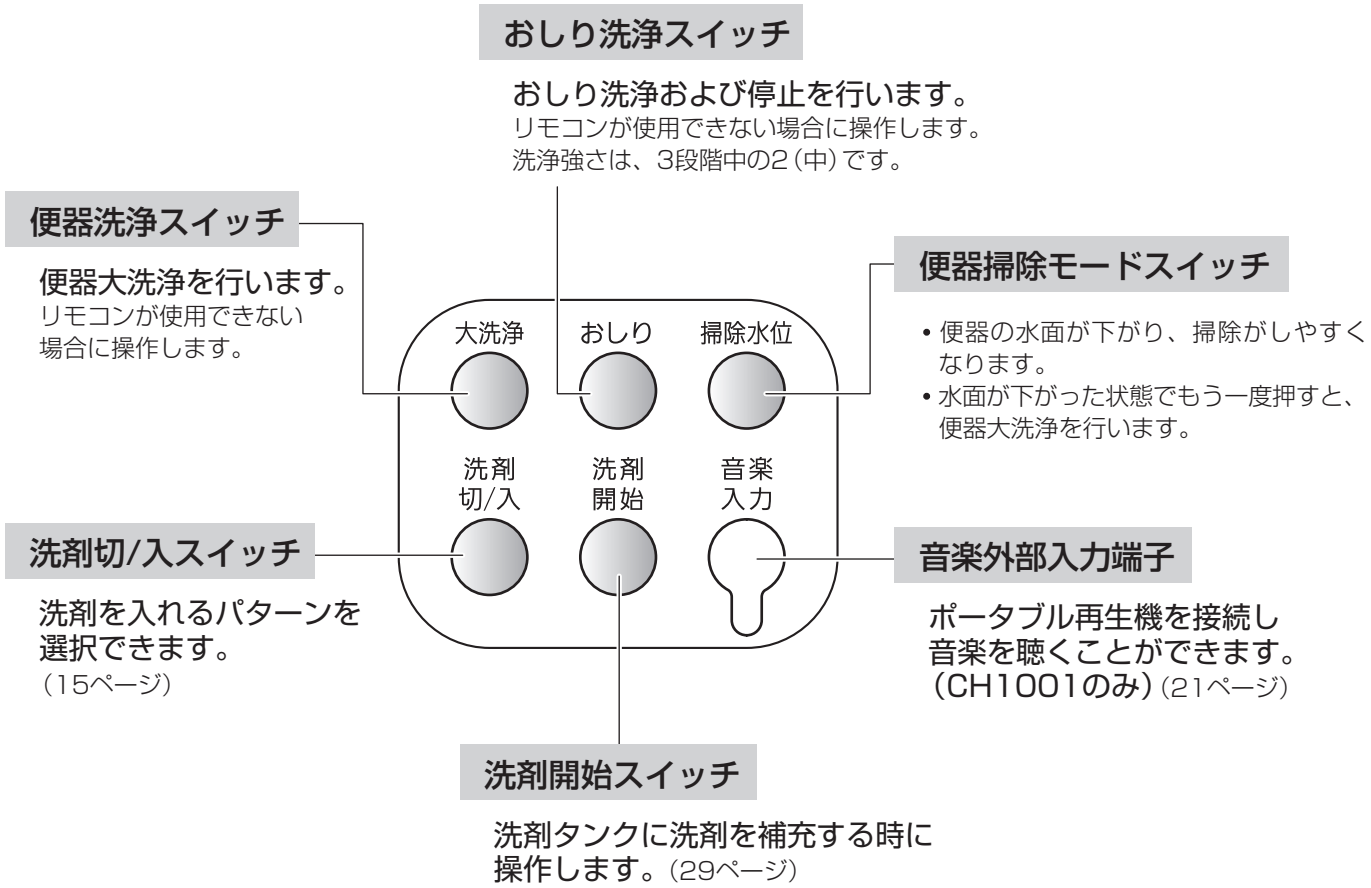
Panasonic

- 電源
- 自動洗浄
- 洗剤洗浄
- 8時間切

（CH1003、CH1009）



本体サブスイッチ



おしり洗浄スイッチ

おしり洗浄および停止を行います。
リモコンが使用できない場合に操作します。
洗浄強さは、3段階中の2（中）です。

便器洗浄スイッチ

便器大洗浄を行います。
リモコンが使用できない
場合に操作します。

便器掃除モードスイッチ

- 便器の水面が下がり、掃除がしやすくなります。
- 水面が下がった状態でもう一度押すと、便器大洗浄を行います。

洗剤切/入スイッチ

洗剤を入れるパターンを
選択できます。
（15ページ）

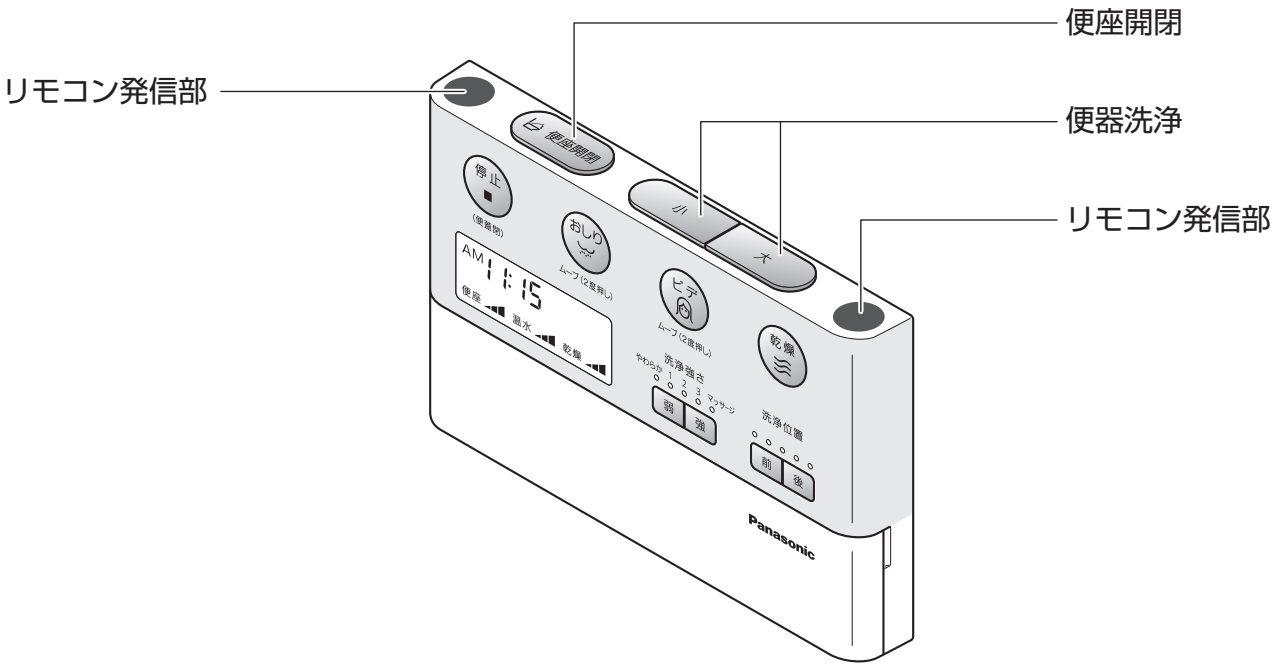
音楽外部入力端子

ポータブル再生機を接続し
音楽を聴くことができます。
（CH1001のみ）（21ページ）

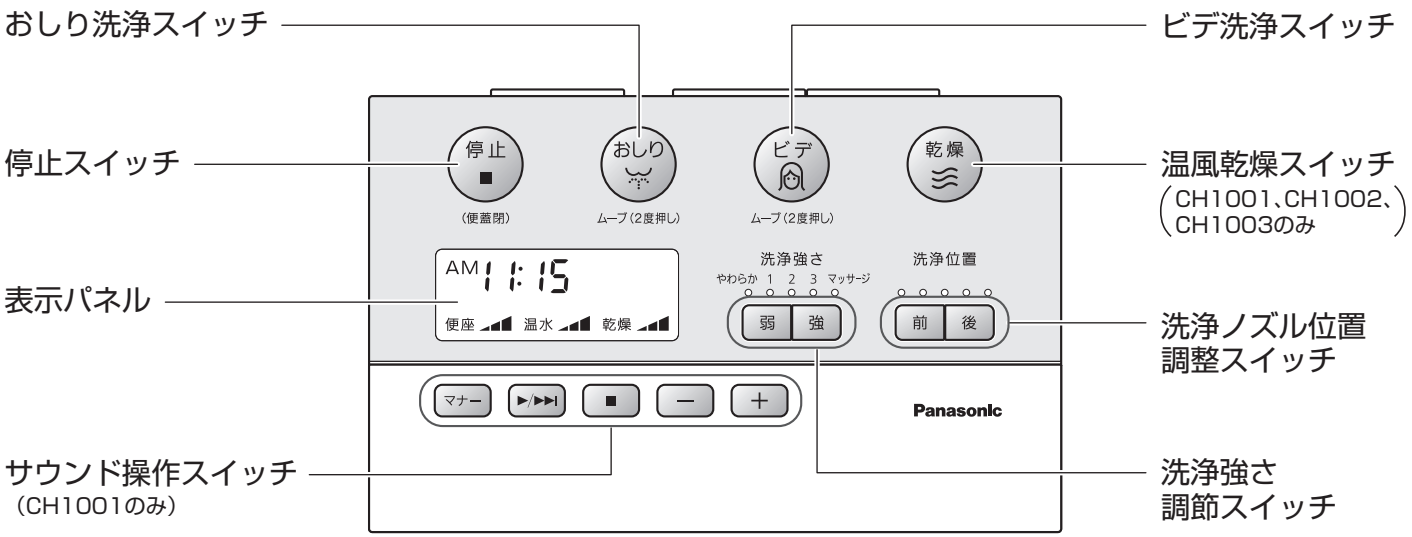
洗剤開始スイッチ

洗剤タンクに洗剤を補充する時に
操作します。（29ページ）

リモコン

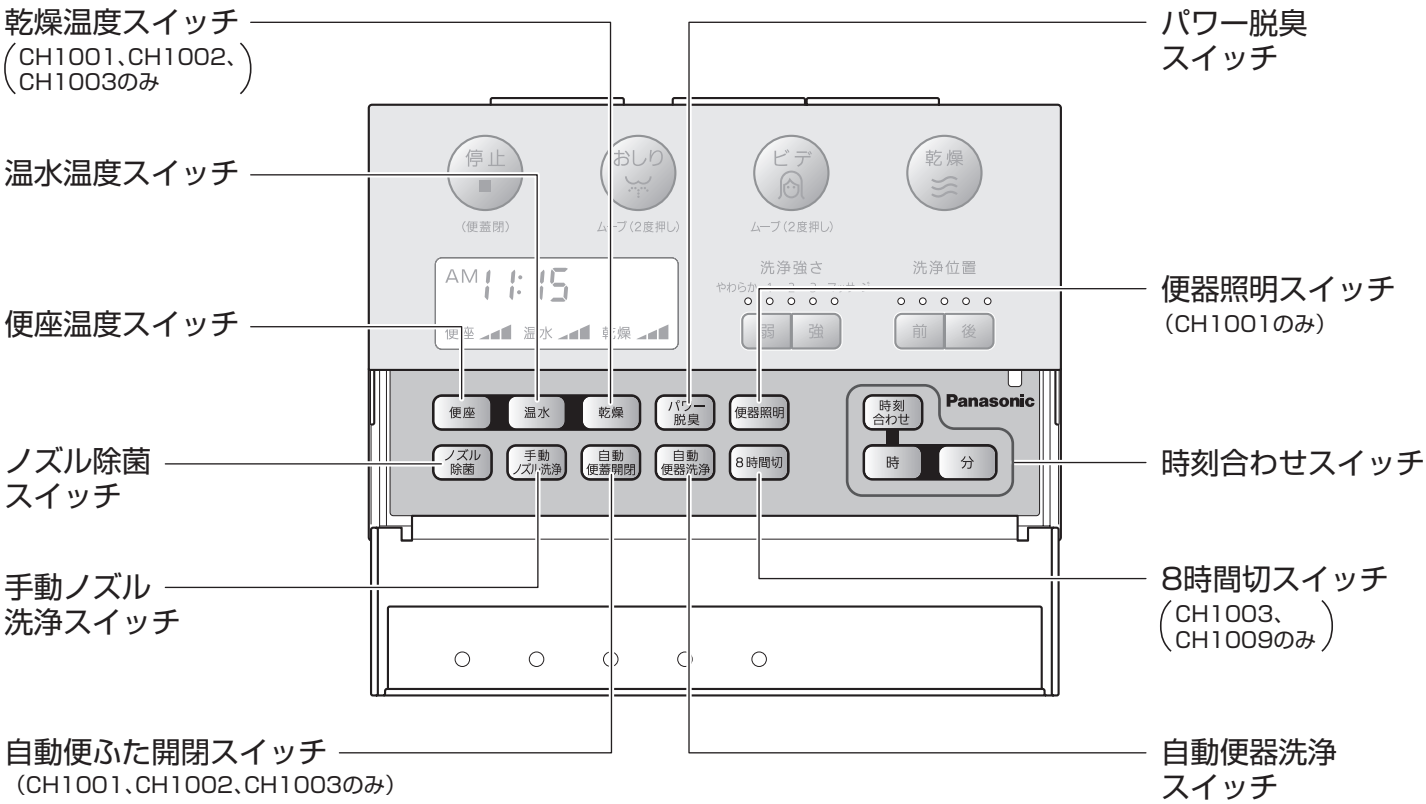


リモコン主操作パネル



※電池容量が減ると下記のような表示がでますので、早めに新しい電池に交換してください。(29ページ)

リモコン副操作パネル



知っておいていただきたいこと

全般

節水・静音に優れたターントラップ洗浄方式

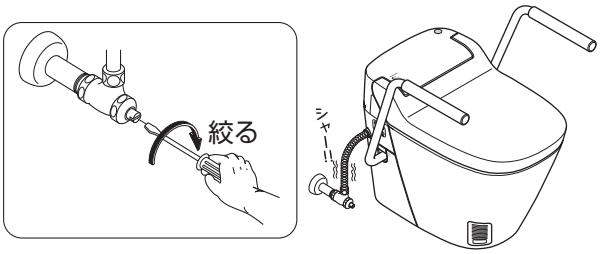
- トラップが上下に可動することで、汚物を排出します。
  従来の便器と比べ、節水、静音性能が優れています。
  また、スパイラル水流による旋回流の力で、ボウル面の汚れも強力にとり除きます。

水道水圧がたりないと便器洗浄水の勢いが弱くなります

- 使用水道圧（動水圧）範囲は69～735kPa {0.7～7.5kgf/cm^2} です。使用水道圧（動水圧）が確保されない場合は、便座洗浄水がスパイラル水流で勢いよく洗浄しなくなります。
  98kPa {1.0kgf/cm^2} 以下では、おしり・ビデの洗浄水量が少なくなります。
  リフォームタンクレストイレ用手洗い器をセットでご使用の場合の使用水道圧（動水圧）範囲は98～735kPa {1.0～7.5kgf/cm^2} です。
- シャワーなど他の水廻り商品と同時に使用された場合、洗浄水の水流が弱くなり、便器に汚染残りの原因となる場合があります。

給水ホースが振動したら

- 洗浄中、給水ホースが振動したり、給水音が大きい場合があります。これは水道水圧が高いことによるもので、故障ではありません。この場合止水栓を絞ってください。（ただし止水栓を絞りすぎて洗浄性能が不十分とならないように注意してください。）



直射日光を当てない

- 直射日光が商品に常時あたる位置への設置はお避けください。
  商品が変色したり劣化したりするおそれがあります。

便器

洗浄後に排水管から音がする

- 洗浄後に便器の封水を確保するために、若干水が溢れる（オーバーフローする）仕組みになっており、その際に排水管で音（ピタ、ピチャなどの音）が発生する場合があります。

座る位置はなるべく深く後ろへ

- 前よりの座り方などでは、便座前部や便座後部、あるいはご使用されている方に、便器の溜まり水や小便が跳ね返る場合があります。
  水の跳ね返りが気になる場合は、トイレットペーパーを水面に浮かべて、跳ね返りがやわらぐよう、クッション代りでご使用ください。

男性も座って小便をしましょう

- 立小便をする場合、小便が跳ねて、便器外へ飛び出すことがあります。
  水はねを軽減させるため、男性も座って小用を足すことをお薦めします。

温水洗浄便座

市販の便座カバー、便ふたカバーは使用できません

- 市販の便座カバー、便ふたカバーは使用できません。使用すると、便座便ふた開閉機能や節電機能が正常に発揮できない場合があります。

便器と温水洗浄便座はセット商品です

- 温水洗浄便座は専用部品です。市販の温水洗浄便座と組み合わせることはできません。

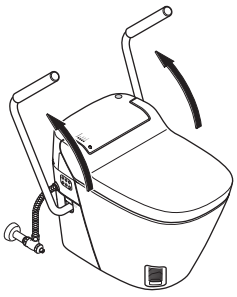
リモコン

下記のような場合には、リモコンが作動しにくいことがあります。

- リモコン受光部・発信部に直射日光が当たっている。
- インバータ照明を使用している。
- リモコン受信部・発信部の上方に棚などの障害物がある。
- 本体の上に、トイレットペーパーなどの物を置いている。
  これらの場合は、直射日光が当たらないようにカーテンを使用したり、障害物を取り除くなどの工夫をしてからご使用ください。

アームレスト

アームレストについて



- 使用しないとき、じゃまにならないように、はね上げることができます。
- 車いすをご利用の方や介助が必要な方向けではありません。
  このような方は、専用の補助具をお使いください。
- 小便や汚水がついた場合は、よく絞った布できれいにふき取ってください。
  さび、汚れの原因となります。

- おしり・ビデ洗浄中、本体部裏側のノズル根元付近から水がでます。これは構造上必要なもので、故障ではありません。
- おしり・ビデ洗浄・乾燥は2分以上連続使用すると、タイマーがはたらいて自動的に停止します。続けてご使用になりたい時は再度スイッチを押してください。
- おしり・ビデ洗浄中に立ち上がると、数秒間洗浄水が出たままになります。必ず(停止)を押してから立ち上がってください。

これは故障ではありません

- 夜間、便座から赤い光が漏れることがあります。これは、便座ランプヒータの光であり、故障ではありません。
- 着座してすぐにおしり・ビデ洗浄すると暖房便座の電源が切れて、便座が冷たくなったと感じる場合があります。(CH1001、CH1002のみ)
- 水温が低いと、温水が出るまでの時間が長くなることがあります。
- 他の蛇口を開いたり便器洗浄中には、水圧が下がり、一時的におしり・ビデ洗浄強さが弱くなることがあります。
- 便座が開くとき、「バタン」と便ふたに当たる場合があります。
- トイレルームにセンサー付き照明を使用している場合、センサー付き照明の点灯時間の設定によっては、便座や便ふたが自動で閉じる際に、センサー付き照明器具が点灯します。

  その場合は、センサー付き照明の点灯時間を6分以上に設定してください。

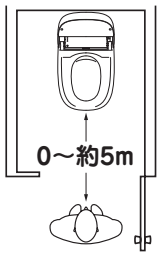
アラウーノのセンサー機能について

アラウーノは、人体センサーと着座センサーが主に検知して作動します

- 検知エリアや位置は下記のとおりです。
- センサー部を汚したり洗剤をかけてしまった場合は、正常に作動しなくなる可能性がありますので、やわらかい布などでふき取ってください。

人体センサー

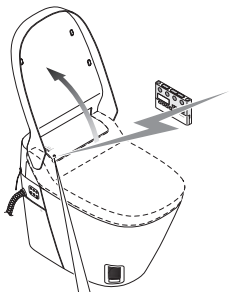
検知エリア



人体センサーは便座先端より正面距離約5mでも検知します。

※室温によって検知距離が変わります。

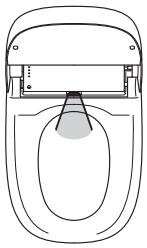
位　置



作動内容
便ふた自動開閉など
(2ページの❶ご参照)

着座センサー

検知エリア



着座センサーからは上図のような赤外線が出ています。
この赤外線の位置に着座すると、人体を検知します。

位　置

作動内容
脱臭、3Dサウンド、
洗浄ノズルなど
(2ページの❷ご参照)

ご使用前の準備

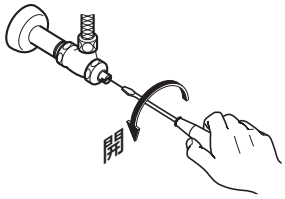
step 1 設置場所の確認

バスルーム内など湿気の多い場所には設置できません。

感電や火災の原因になります。

step 2 便器本体への給水準備

- 止水栓は開いていますか。
  閉じている場合は開いてください。

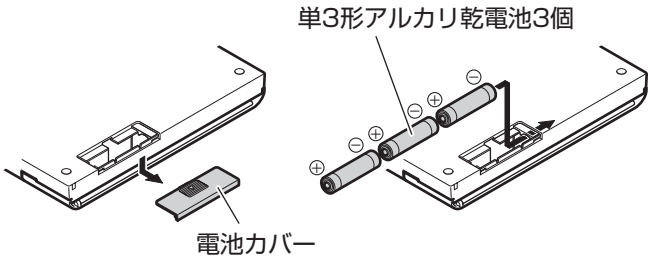


- 水漏れはありませんか。もし水漏れがあれば施工店にご連絡ください。

step 3 リモコンに電池を入れる

電池を入れてください

- 単3形アルカリ乾電池を3個ご使用ください。
- 電池の ⊕ ⊖ を正しく入れてください。
- 電池寿命は約1年です。交換するときは3個とも新しい単3形アルカリ乾電池に交換してください。
- 長時間使用しないときは電池を取り出してください。



⚠警告

必ず守る	禁止
電池は正しく取り扱う • ⊕ ⊖ は正しく入れる。 • 長期間使用しないときは取り出しておく。 • 必ず指定の電池を使用する。 • 乳幼児の手の届かないところにおく。 万一飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談する。 • 使い切った電池はすぐに器具から取り出す。 • 電池を破棄する場合、テープなどで絶縁する。 • 液が体についたときは、水でよく洗い流す。 • 液が目に入ったときは失明のおそれがあります。 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、医師に相談する。 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより火災や周囲汚損の原因となります。 • 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。	**電池は誤った使い方をしない** • 金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち込んだり保管しない。 • 新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しない。 • 加熱、分解したり、水、火の中に入れたりしない。 • 被ふくのはがれた電池は使わない。 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより火災や周囲汚損の原因となります。 • 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。

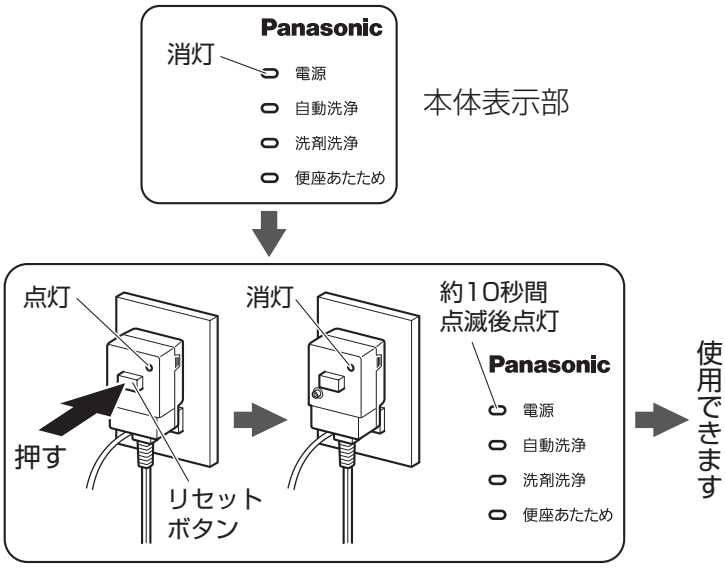
step 4 便器本体への通電

漏電しゃ断器（プラグ付）をコンセントにしっかり差し込んでください。本体表示部の電源ランプが約10秒間点滅します。

この10秒間は全ての操作を受け付けません。

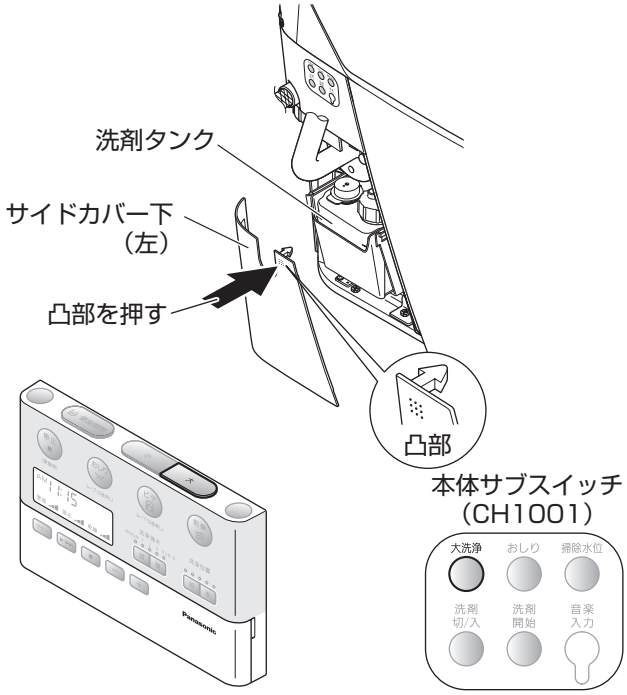
※電源ランプが点滅しない場合は、漏電しゃ断器（プラグ付）のリセットボタンを「カチッ」と音がするまで押してください。

※漏電しゃ断器（プラグ付）の漏電表示ランプが消灯した状態で通電可能になります。



step 5 洗剤の確認

便器を自動で洗浄するためには、洗剤タンクに洗浄用洗剤（台所用中性洗剤）が入っている必要があります。
向かって左側のサイドカバー下を取り外し、洗剤タンクに洗剤の準備ができているか確認してください。
洗剤の補充方法は、28ページを、
使用する洗浄用洗剤は、29ページをご覧ください。



step 6 便器洗浄面への給水方法

本体サブスイッチの大洗浄 またはリモコンの便器洗浄 大 を押すと、便器洗浄面に給水しはじめ、自動的に停止します。

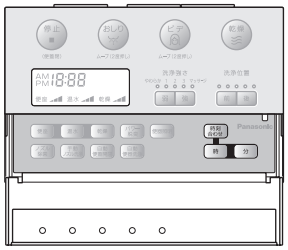
step 7 設定の確認

出荷時の設定は、次のようになっています。
お好みの設定でお使いください。

※電源プラグを抜いても、出荷状態に戻らず、お客様が設定した状態を記憶しています。停電の場合も同様です。

	項　　目	出　荷　時	詳細
便器部	自動便器洗浄	入	P14
	便器洗浄増モード	切	P14
	洗剤投入パターン	大洗浄時のみ洗剤入	P15
	洗剤投入量	ふつう	P15
便座部	自動便ふた開閉	入	P16
	洗浄強さ	2	P18
	洗浄位置	中央	P18
	便座温度	ふつう（約36℃）	P17
	温水温度	ふつう（約38℃）	P18
	乾燥温度	ふつう（約40℃）	P19
	脱臭	入	P19
その他	サウンド自動再生（CH1001のみ）	入	P21
	サウンドランダム再生（CH1001のみ）	切	P21
	サウンド音量レベル	5	P20
	便器照明（CH1001のみ）	入	P22
	8時間切（CH1003、CH1009のみ）	切	P22

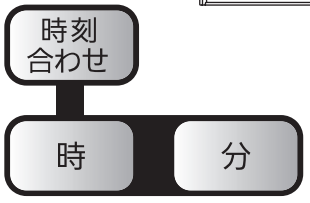
現在時刻の合わせかた



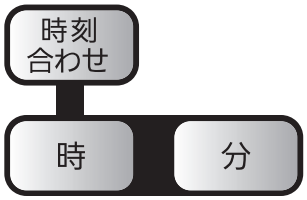
step 1 乾電池を入れると時計は PM12:00 便座 温水 乾燥 を表示します

step 2 時刻合わせ を押す。時 分 スイッチで、現在時刻を合わせます

※時刻表示が点滅します。



step 3 時刻合わせ スイッチを再度押すと、時刻表示が点滅から点灯にかわり、時計が動きはじめます



使いかた（便器洗浄）

自動便器洗浄

- トイレご使用ごとに便器洗浄ボタンを押さなくても立ち上がってから約10秒後に自動的に便器洗浄を行います。
- 着座時間50秒以下の場合は小洗浄。
  着座時間50秒を超えた場合は大洗浄になります。
  このときは、洗浄の設定を大洗浄時のみにしている場合は、小洗浄では洗剤はでません。

設定調整

出荷時は、自動便器洗浄が「入」になっています。

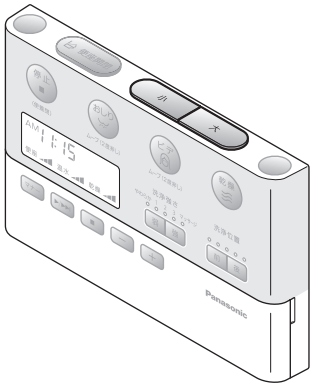
自動便器洗浄 を押すと、本体表示部の自動洗浄ランプが点灯し、自動便器洗浄が予約されます。

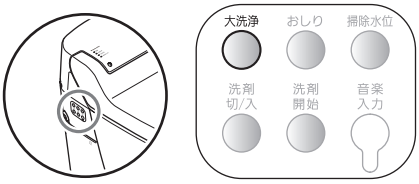
リモコンでも便器洗浄

大 を押すと、大洗浄を行います。

小 を押すと、小洗浄を行います。

- 小洗浄で流すことのできるトイレットペーパーの長さは、約3m（シングルまたはダブル）までです。
  流れにくい場合は、大洗浄をお使いください。

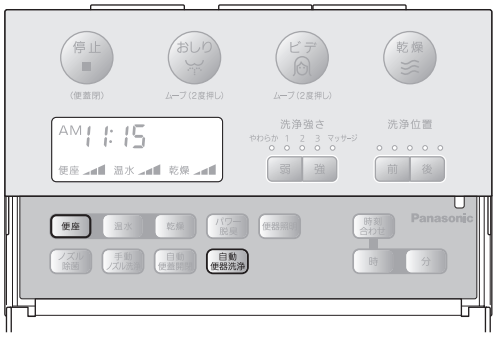




本体サブスイッチ（CH1001）

リモコンが使用できない場合は、
本体サブスイッチの 大洗浄 を押すと
便器大洗浄を行うことができます。

洗浄水量増量モードの設定



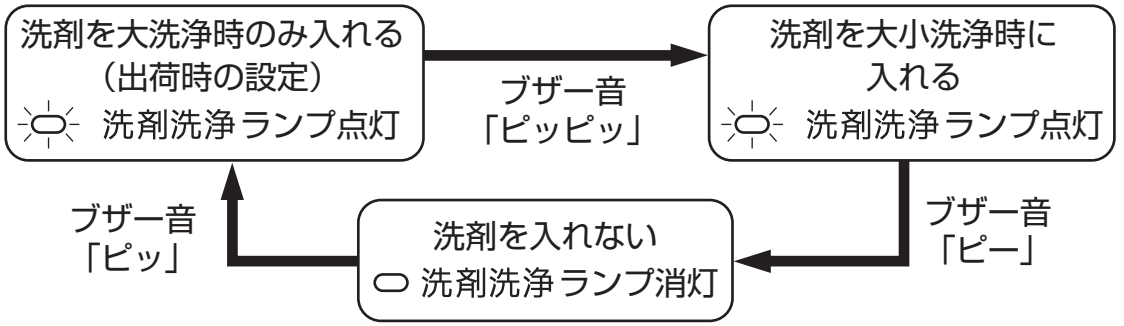
✳ 出荷時の洗浄水量は大洗浄約5.7L、
小洗浄約4.5Lです。（動水圧0.1MPa時）

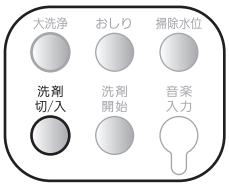
- 一部の都市では使用条件が決められているところもありますので下水局などの指示に従い、増量の必要がある場合は増量モードに設定してご使用ください。
- 便座 と 自動便器洗浄 を同時に2秒間押すと、ブザー音が「ピッ」と鳴り、増量モードが設定されます。
  増量モードの洗浄水量は、大洗浄約10L、小洗浄約4.5Lとなります。
- 増量モードを解除する場合は、弊社お客様ご相談センター（裏表紙ご参照）へお問い合わせください。

洗剤洗浄の設定

◎洗剤投入パターンの設定

✳ 本体サブスイッチの（洗剤 切/入）をスイッチ押すごとに、洗浄投入パターンの設定が切り替わります。



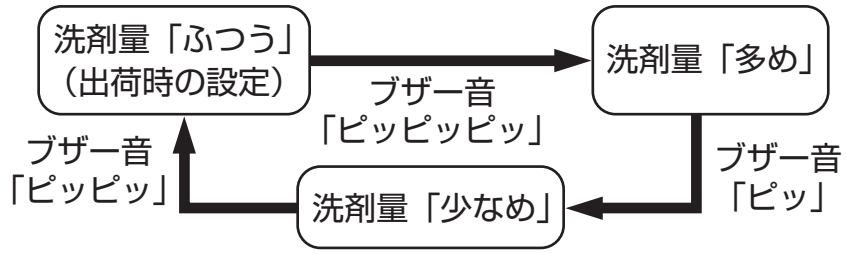


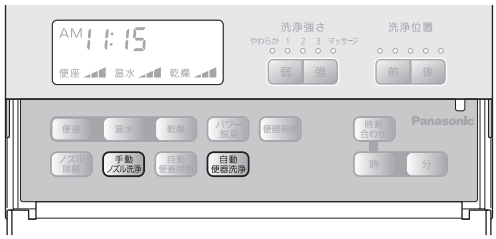
本体サブスイッチ
（CH1001）

洗剤洗浄ランプ点灯時、24時間以上大・小洗浄しなかった場合、ボウル面をきれいに保つため自動的に洗剤を含んだ小洗浄を行います。
※洗剤「切」にした場合、便器洗浄面の自動お掃除機能は働きません。

◎洗剤投入量の設定

✳ 自動 便器洗浄 と 手動 ノズル洗浄 を2秒間同時に押すごとに、洗剤量設定が切り替わります。





お願い！

- 洗剤洗浄ランプ点灯時、洗剤による泡が発生しない場合は、洗剤を補充してください。（28ページ）
- 長期不在（7日以上）や長期洗剤未使用（7日以上）などで洗剤洗浄をしない場合、洗剤タンクの水洗いと本体内水循環をしてください。（30ページ）
  ・洗剤が変質して詰まる可能性があります。

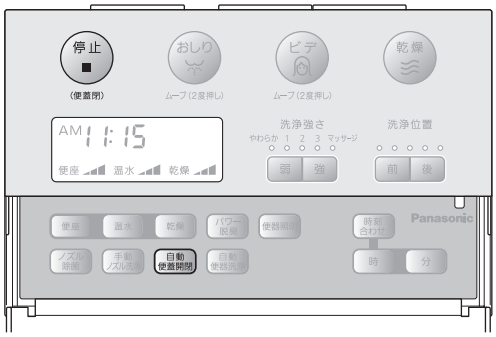
お知らせ

- 水質、室温、水道圧の変動により、泡立ちや泡残りが変わる場合があります。（洗浄性能には影響しません。）
  ・洗剤開始ボタンを押した当初数回の洗浄では、泡の量が増加する場合があります。（故障ではありません。）

■「洗剤補充のしかた」は、28ページ、
洗浄用に使用する洗剤・使用できない洗剤は、29ページで確認してください。

使いかた（便座開閉） CH1001、CH1002、CH1003のみ

自動便ふた開閉の設定



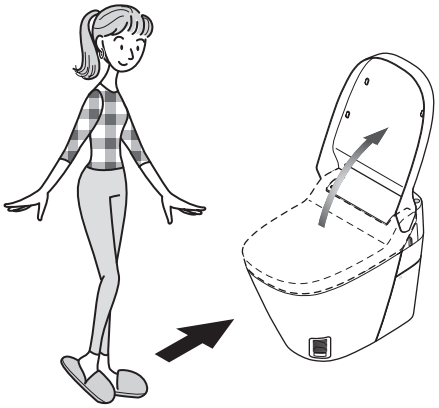
自動便蓋開閉 を押すと、ブザー音が「ピッ」と鳴り、

自動便ふた開閉機能が予約されます。

再度 自動便蓋開閉 を押すと、ブザー音が「ピー」と鳴り、

予約が解除されます。

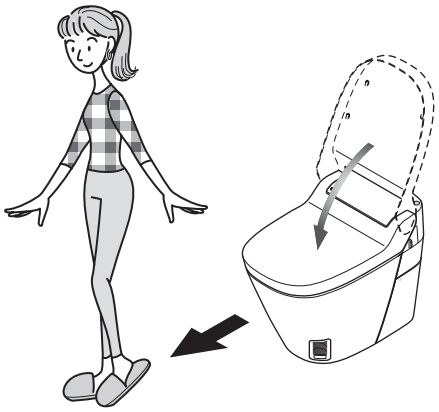
停止 ■（便蓋閉） を押すと、便ふたが閉じます。



※出荷時は、自動便ふた開閉が「入」になっています。

※自動便ふた開閉について
- 人が近づくと、便ふたが自動で開きます。（便座は自動では開きません。）
- 便ふたのみ開いていた場合、約3分後に自動で便ふたが閉じます。
- 便座・便ふたが開いていた場合、約5分後に自動で便座と便ふたが閉じます。

※自動便ふた開閉「切」の状態でも一定時間後、自動的に便ふたを閉じます。但し、人が近づいても便ふたは自動で開きません。

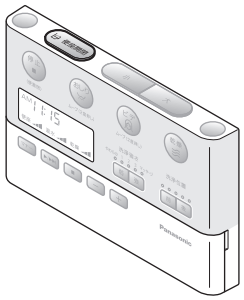


ちょっと待って！

- **漏電しゃ断器（プラグ付）のプラグを差し込んだ時や、自動開閉予約を設定した直後は、約1分間は、人体センサーははたらきません。**
  急に便ふたが開くことがないようにするためです。
- **便ふたを、リモコンや手で閉めた場合も、そのあと約1分間は、人体センサーははたらきません。**
  トイレから出るときに、閉めたふたが開いてしまわないようにするためです。
- **室温が30℃を超えると人体検知しにくくなることがあります。トイレルームの窓や戸を開けて換気してください。**
- **便ふたのみの開閉は、本体やリモコンを使ってはできません。**
  便ふたの開閉は、自動便ふた開閉機能をご使用ください。
- **着座センサーが汚れていると便ふたが自動閉しないことがあります。**
  汚れや水滴をふいてください。

便座開閉スイッチ

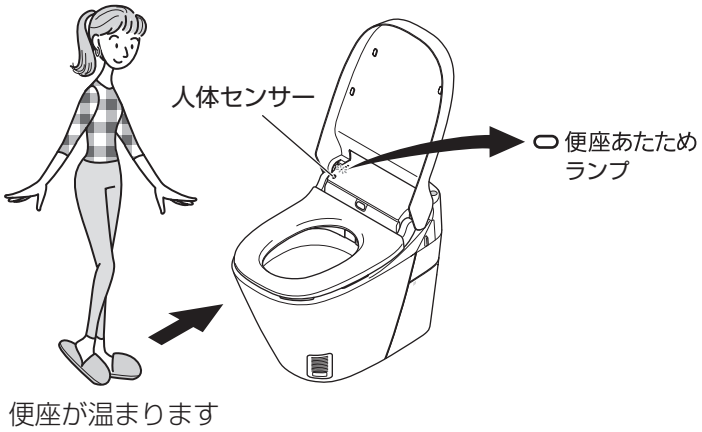
便座開閉 を押すと、便座を開閉します。



使いかた（便座の暖房）CH1001、CH1002のみ

瞬間暖房便座

トイレに人が入ると人体センサーが検知し、同時に便座を温めます。
人がいないときは、便座を温めないので節電になります。
ただし、冬場などは冷え込み防止のため便座に通電（約18℃保温）しています。



便座あたためランプ点滅

入室を検知すると、便座の温めを開始し、便座あたためランプが点滅します。

便座あたためランプ点灯

便座温度が約30℃に達すると、便座あたためランプが点灯に変わります。
その後、数秒で設定した便座温度（「低め」、「ふつう」、「高め」）に達します。

冬場など室温が低いときは、便座が約30℃になるまで約6秒かかります。
便座あたためランプが点灯に変わったことを確認してお座りください。

便座
便座 が「切」のときは、瞬間暖房便座は働きません。

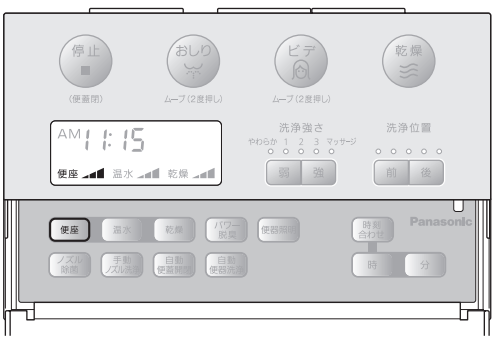
お知らせ

- 便座はアルミを使用しているため、樹脂製の便座と比べて温感が違います。（CH1001、CH1002のみ）
  便座「切」や停電時などは、便座が冷たく感じる場合があります。また、便座の構造上、便座の側面と背面側は、便座面より便座が冷たく感じる場合があります。
  また、直射日光があたると便座が熱く感じる場合があります。
- 便座 の設定が「高め」「ふつう」「低め」のときは、トイレを使用していないときでも室温を自動で検知し、便座が冷えすぎないように自動で約18℃にコントロールしています。
- 便座カバー、便ふたカバーは使用できません。
- 瞬間暖房便座なので、座ってすぐは便座が熱く感じる場合があります。着座すると低温やけど防止のために、便座の温度がさがり、便座が冷たくなったと感じる場合があります。
  着座してすぐにおしり・ビデ洗浄すると暖房便座の電源が切れて、便座が冷たくなったと感じる場合があります。

便座温度設定

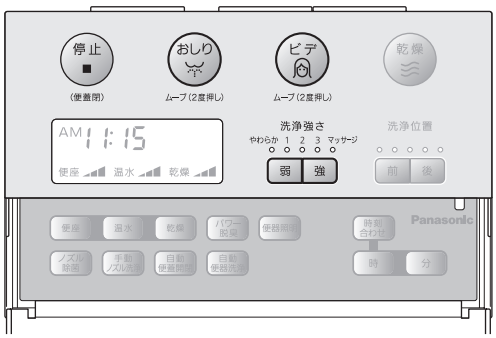
便座 を押すごとに便座温度設定が切り替わります。

切 → 低め（約33℃） 便座 → ふつう（約36℃） 便座 → 高め（約40℃） 便座 → 切



使いかた（おしり・ビデ洗浄）

おしり・ビデ洗浄



おしり ムーブ(2度押し)　ビデ ムーブ(2度押し)　**いずれかを押し、洗浄する**

停止 (便蓋閉)　**を押すと、停止します**

※停止後は使用したノズルの洗浄を行います。

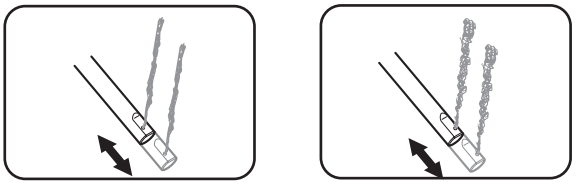
- 温水が出るまで約7秒かかります。
- お好みに合わせていろいろな洗いかたができます。

〈広範囲の洗浄に…〉

おしり ムーブ(2度押し) 2度押しするとおしりムーブになります。

ビデ ムーブ(2度押し) 2度押しするとビデムーブになります。

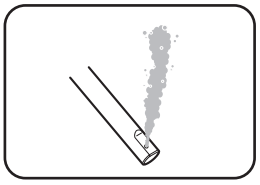
- ノズルが自動で前後に動きます。
- ノズルが自動で前後に動きます。



〈下痢のときに…〉

洗浄強さ
やわらか 1 2 3 マッサージ
弱 強

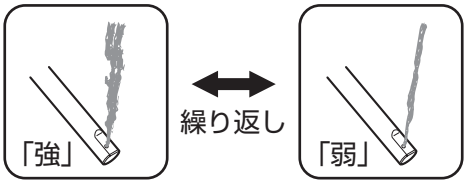
- やわらかな水流で洗浄します。



〈便秘のときに…〉

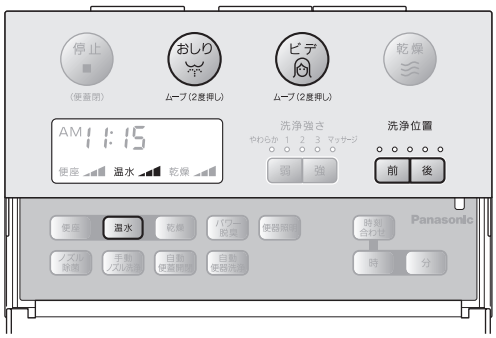
洗浄強さ
やわらか 1 2 3 マッサージ
弱 強

- 洗浄強さを強から弱に自動的に繰り返し、おしりを心地よく刺激します。



※おしり・ビデの洗浄は、2分間連続使用すると、自動的に停止します。
続けてご使用になりたいときは、再度スイッチを押してください。
洗浄強さのランプも2分で消灯します。

◎温水温度調整



温水 を押すごとに温水温度が切り替わります。

→ 切（水温） → 低め（約36℃） 温水 → ふつう（約38℃） 温水 → 高め（約40℃） 温水 →

- 冬場など、水温が極端に低い場合、温水温度が所定の温度より低くなる場合があります。

◎ノズル位置調整

おしり ムーブ(2度押し)　ビデ ムーブ(2度押し)　**の洗浄中に調節できます**

- 前 または 後 を押すと、それぞれの方向にノズルが移動し、お好みの位置に調節ができます。

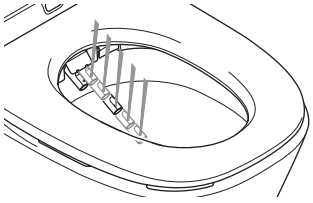
※毎回使い始めは、中央となります。

※便座面が広いため、なるだけ深く腰かけてご使用されることをお勧めします。
おしり・ビデ洗浄水が適切な個所に当たらずに、便座後部などに飛び散りやすくなります。

ノズル位置を5段階で表示（ランプ点灯）
ランプは2分で消灯します。

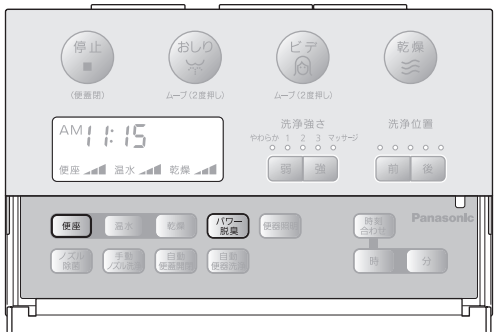
洗浄位置
前 後

真ん中を中心に前に2段階、後ろに2段階



使いかた（脱臭・乾燥）

パワー脱臭の設定



着座中に パワー脱臭 を押すと、ブザー音が「ピッ」と鳴り、パワー脱臭機能がはたらき、再度 パワー脱臭 を押すと、ブザー音が「ピー」と鳴り、解除されます

パワー脱臭について

脱臭の風量を約1.5倍にアップしてにおいを強力に吸収します。

トイレルームなどの臭気には脱臭効果が少ない場合があります。

便座に座ると同時に脱臭します。

便座から立ち上った後、約1分間パワー脱臭をします。

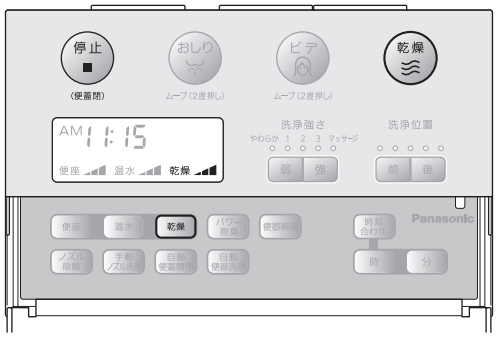
脱臭機能を止めたいとき

便座 と パワー脱臭 同時に約2秒間押す。（ブザー音が「ピー」と鳴り解除できます。）

脱臭機能を再設定したいとき

便座 と パワー脱臭 同時に約2秒間押す。（ブザー音が「ピッ」と鳴ります。）

乾燥（CH1001、CH1002、CH1003のみ）



乾燥 **を押すと温風で乾燥をします**

- 乾燥前にトイレットペーパーで軽く水滴を取ると早く乾きます。

停止 **を押すと、停止します**

（便蓋閉）

- 乾燥は2分以上連続運転すると、タイマーがはたらいて自動的に停止します。続けてご使用になりたいときは、再度スイッチを押してください。

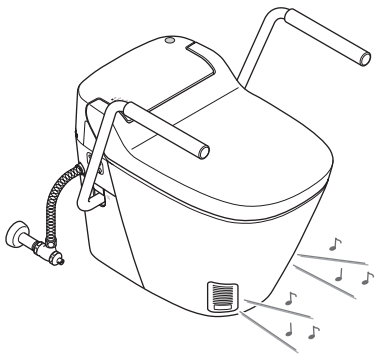
◎乾燥温度設定

乾燥 を押すごとに乾燥温度が切り替わります。

→ 低め（約20℃） 乾燥 ◢ → ふつう（約40℃） 乾燥 ◢◢ → 高め（約60℃） 乾燥 ◢◢◢ →

使いかた（3Dサウンド）CH1001のみ

3Dサウンド機能について



着座すると自動で再生し、人がいなくなってから約1分後に停止します。（自動再生設定時）
※1曲がリピート再生されます。
※再生中、外部入力端子に接続すると外部入力再生に切り替わります。

►/►►I を押すと、次の曲にスキップします。

テーマ	曲順	ジャンル	曲名	収録時間
おはよう	1	クラシック	アイネ・クライネ・ナハトムジーク 第3楽章	2：05
	2	自然音	Forest（森の静けさ）	2：30
	3	クラシック	朝	4：02
	4	クラシック	春	3：30
おでかけ	5	自然音	stream（川のせせらぎ）	3：00
	6	琴	花	2：28
	7	自然音	wave（波の音）	2：30
	8	琴	浜辺の歌	3：24
ちょっと一息	9	自然音	南部風鈴	2：12
	10	琴	早春賦	2：37
	11	自然音	ししおどし	1：56
	12	胎内クラシック	白鳥	3：53
おやすみ	13	胎内クラシック	モーツァルトの子守歌	3：54
	14	クラシック	主よ人の望みよ喜びよ	3：47
	15	胎内クラシック	アヴェ・マリア	3：47
	16	クラシック	G線上のアリア	4：28

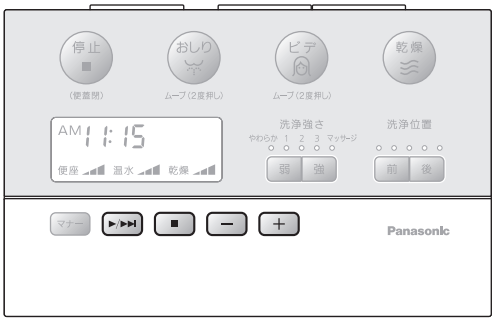
Licensed by VICTOR ENTERTAINMENT, INC.

※胎内クラシックは、こもったような音に聞こえますが、リラックス効果を狙ったもので、故障ではありません。
※携帯電話着信時に便器本体に近づけると、便器スピーカーに雑音が入る場合があります。
※トイレルームの形状、広さにより3Dサウンド効果に違いがあります。

○音楽を停止・再生する

■ を押すと、再生を停止します。

停止中 ►/►►I を押すと、音楽を再生します。



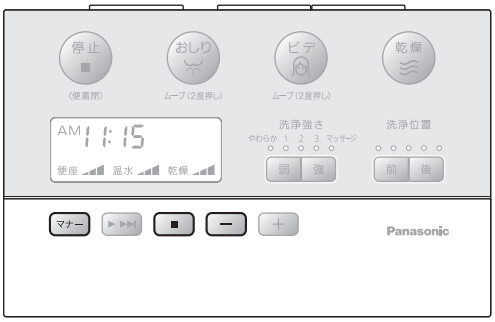
※曲の途中で停止しても、次回再生時は、その曲の最初から再生されます。

○音量を調節する

＋ ー を押すと、音量を調節できます。

お好みの音量に設定してください。次回再生時も同じ音量で再生します。（10段階まで調節できます）
※出荷時の音量レベルは「5」です。

マナー再生

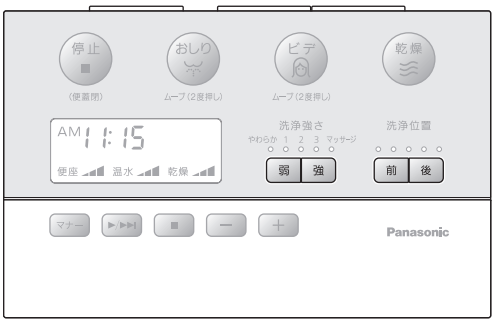


マナー を押すと、マナー音「stream(川のせせらぎ)」が約25秒再生されます。

■ を押すと、途中で停止できます。

※用便中の音を聞こえにくくするために流水音が再生されます。
※音楽再生中にマナースイッチを押すと、マナー音再生後、元の音楽を再生します。
※マナー音の音量レベルは「10(最大)」です。音が大きい場合は **ー** を押し、音量を下げてください。

3Dサウンドの設定



○自動で再生の設定

前 と 後 を2秒同時押しするとブザー音が「ピッ」と鳴り、自動再生が設定されます。

再度、前 と 後 を2秒同時押しするとブザー音が「ピー」と鳴り、自動再生が解除されます。

※出荷時は、自動再生が入になっています。

○ランダム再生

弱 と 強 を2秒同時押しするとブザー音が「ピッ」と鳴り、曲を順不同に再生します。

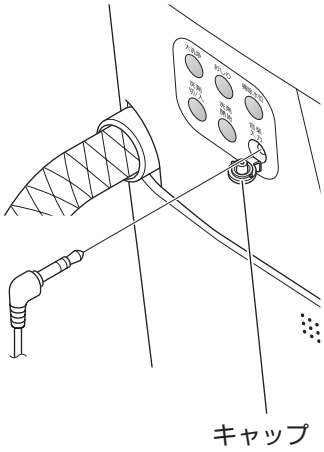
再度、弱 と 強 を2秒同時押しするとブザー音が「ピー」と鳴り、ランダム再生が解除されます。

※ランダム再生は、1曲が終了すると、次の曲をランダムに選曲し再生します。
曲の途中で停止した場合は、前回停止した同じ曲の最初から再生されます。
※出荷時は、ランダム再生が切になっています。

外部入力再生する

本体サブスイッチの音楽入力端子にポータブル再生機を接続し、音楽を聴くことができます。
接続には市販のステレオミニプラグケーブルを使用してください。

※外部入力時はリモコンのマナースイッチ以外は操作できなくなります。
※本機での自動再生やランダム再生機能は使用できません。
※ポータブル再生機で再生、停止や音量調節などを操作してください。
外部入力の場合、リモコンでの音声調節はできません。外部入力機器側での調整となります。
※設定により大音量で再生される場合がありますので、ご注意ください。
※停止操作忘れ防止のため、1時間でスピーカーからの再生は停止しますが、ポータブル再生機は手動で停止させてください。
※ポータブル再生機をご使用にならない場合は、音楽入力端子からステレオミニプラグを抜き、キャップをしてください。



使いかた（便器照明）CH1001のみ

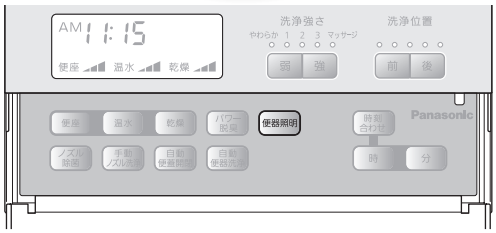
自動点灯・自動消灯

- 人が近づくと、「人体センサー」が検知して、照明が点灯します。夜間の眠りを妨げない照明としてお使いください。
- 便ふたのみ開いていた場合、約3分後に自動で照明は消灯します。
- 便座・便ふたが開いていた場合、約5分後に自動で照明が消灯します。

自動点灯の設定

設定調整

便器照明 を押すと、ブザー音が「ピッ」と鳴り、足もとと便器洗浄面内の照明を自動点灯に設定します。



自動点灯の解除

設定調整

便器照明 を押すと、ブザー音が「ピー」と鳴り、照明が消えます。
入室時の自動点灯を「切」にします。

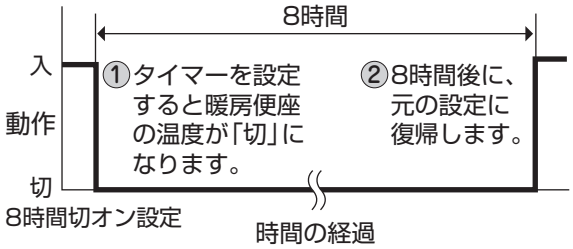
ちょっと待って！

- 便器照明は、リモコンなどの操作部を確認するための照明ではありません。

使いかた（8時間切）節電 CH1003、CH1009のみ

8時間切タイマー運転

- 暖房便座の温度を8時間「切」にし、無駄な電気をセーブし、8時間後には、元に復帰します。
- 就寝時や、長時間外出するときなどにおすすめの機能です。



8時間切タイマー

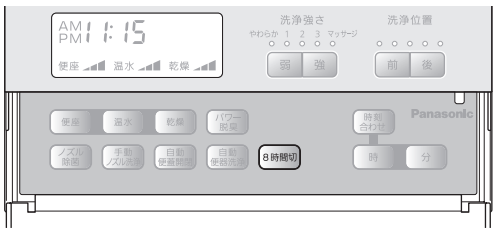
設定調整

8時間切 を押すと、ブザー音が「ピッ」と鳴り、本体表示部の8時間切ランプが点灯し、その他のランプが消灯します。

- 8時間切ランプが点灯しているとき、便座温度が「切」になります。
（※8時間後、元の設定に戻ります。）

再度 8時間切 を押すと、ブザー音が「ピー」と鳴り、本体表示部の8時間切ランプが消灯します。

- 8時間切ランプがはたらいている途中でも、着座するとすべての機能が使用できます。



⚠注意

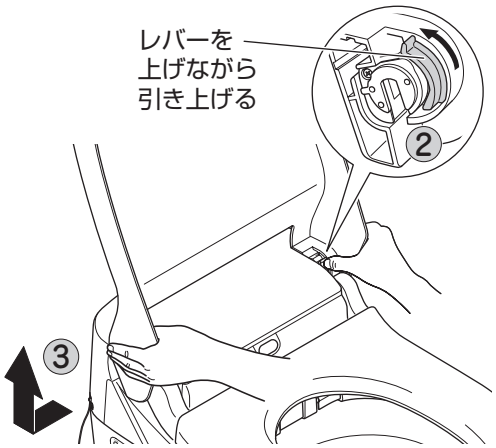
禁止

- 凍結防止ヒーターを使用する場合は8時間切スイッチは使用しない
（寒冷地仕様のみ）
便ふた部の結露で床をぬらす原因となります。

お手入れ（便座・便ふた）

便座、便ふたのお手入れ

- 柔らかい布で水ふきし、よくしぼった布でふきとってください。
- 汚れが目立つときは、以下の方法にしたがい中性洗剤で洗ってください。
- 便座・便ふたのお手入れ時は、必ず電源プラグを抜いてください。



step 1 便ふたを取り外す

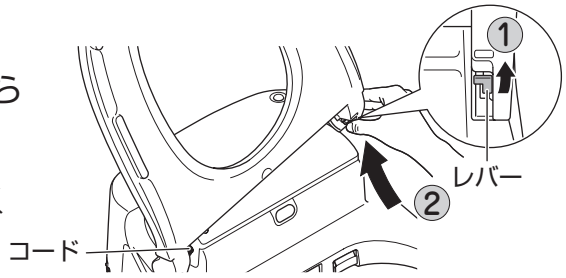
便ふたを立てた状態にし

① レバーを上に上げながら

② 便ふたの右側を引き上げ

③ 左側を外す

step 2 便座を外す（右側のみ）



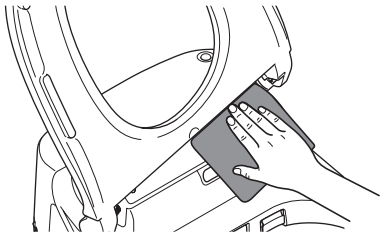
① 便座を立てた状態にし、レバーを上にあげながら

② 便座右側を引き上げる

- 便座を奥まで開ききり、引き上げると抜きやすくなります。
- 便座右部のみ外せます。

※左側のコードは強く引っ張らないでください。
故障の原因になります。

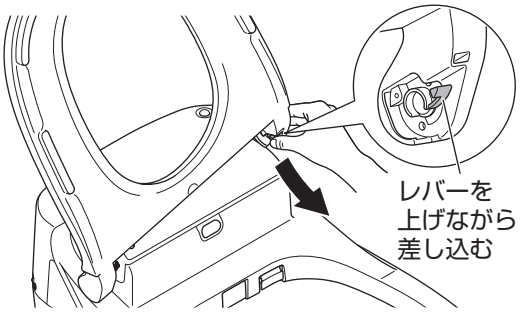
step 3 便座・便ふたをお手入れする



① 柔らかいスポンジに中性洗剤を付けてふく

② ふいた後は、よくしぼった布でふきとる

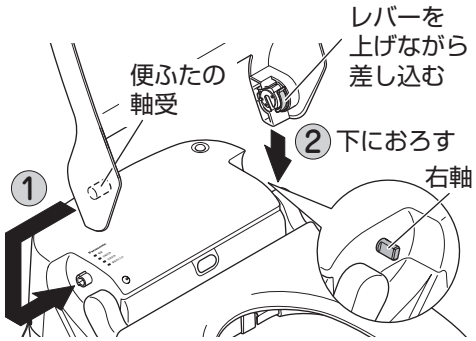
step 4 便座を元に戻す



① step2記載の便座左軸のコードを本体内に戻し、便座の左軸を元どおりにセットする

② 右軸のレバーを上げながら便座を立てて上から取り付ける
（レバーが下がっていることを確認する）

step 5 便ふたを取り付ける



① 便ふたの左軸受を左軸にセットする

② 右軸のレバーを上げながら便ふたを立てて上から取り付ける
（レバーが下がっていることを確認する）

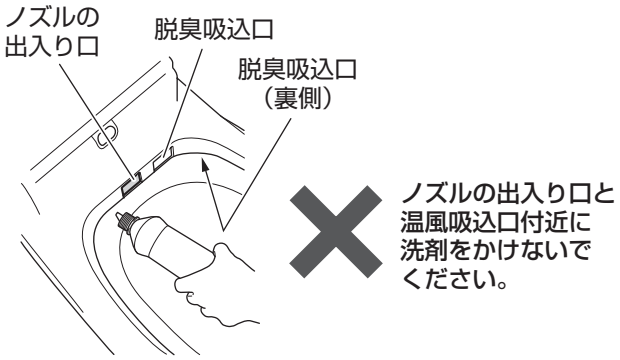
お手入れ（便器部）

便器部のお手入れ

◎日常のお手入れ

- やわらかい布で水ふきしてください。
- 研磨剤入りやナイロンたわしは、器具の表面を傷つけますので、絶対に使用しないでください。
- 便器のお手入れに次のような薬剤や洗剤は使用しないでください。

（例）塩酸・シンナー類・ベンジン・アルコール・殺虫剤・タイル洗い・酸・アルカリ性の洗剤など



ノズルの出入り口と温風吸込口付近に洗剤をかけないでください。

（CH1002Z、CH1003Zのみ）

⚠注意

禁止

酸・アルカリ性の洗剤、アルコール（エタノール、イソプロピルアルコールなど）を含む洗剤・消臭剤・掃除シート・滴下するタイプの消臭液、シンナー、ベンジン、アルコール、薬品などを使用しない
- 割れてけがをしたり、感電の原因になります

アルコールを含む消臭剤を置かない
- 割れてけがをしたり、感電の原因になります。

ノズルの出入り口と温風吹出口と脱臭吸込口付近に洗剤をかけない

◎ため水部分の色ついた汚れ

- 水温や水質によってため水部分に色の付いた汚れが発生する場合があります。
- 本体サブスイッチの（掃除水位）を利用すれば簡単にお手入れが可能です。
  25ページ「汚れの種類・洗剤と道具」を参照にお手入れしてください。
- **上記で便器の汚れが取れない場合**
  トイレ用ブラシ（PPブラシ）と、トイレ用中性洗剤でこすり落としてください。

◎台輪部（CH1002Z,CH1003Zのみ）

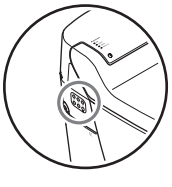
- やわらかい布で水ふきしてください。
- **汚れが取れない場合**
  水にぬらしたメラミンスポンジや歯ブラシなどで汚れをこすり落としてください。
- 傷の原因になりますので、メラミンスポンジは台輪部以外には使用しないでください。

◎便器の水位を下げる

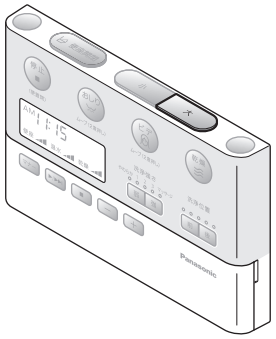
- 便器洗浄面のお手入れをしやすいように、ため水の水位を一時的に下げることができます。

本体サブスイッチの（掃除水位）を押すと、約3秒間水が流れ、水位が約3cm下がります。

お手入れ後、本体サブスイッチの（掃除水位）またはリモコンの［大］または［小］を押すと、いったん便器洗浄を行い、通常の水位に戻ります。
（放置していても約20分後に大洗浄を行い、通常の水位に戻ります。）



本体サブスイッチ
（CH1001）



お手入れ（汚れの種類・洗剤と道具・洗浄便座部）

◎汚れの種類とお手入れ方法

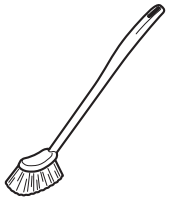
赤～ピンク汚れ	●場所／便器・ため水 ●原因／メチロバクテリウムという空気中に存在するバクテリア類の細菌で、水温や水質などの特定の条件下で繁殖します。	●お手入れ方法／ ・早めに トイレ用中性洗剤や、やわらかい布で水ふきして落としましょう。 ・ガンコな汚れ 漂白剤を使った湿布法※で落とします。その後、洗浄操作を行い洗い流します。
黄色い汚れ	●場所／便器・便座・便座裏側・床 ●原因／尿による汚れ	●お手入れ方法／ ・早めに トイレ用中性洗剤や、やわらかい布で水ふきして落としましょう。 ・ガンコな汚れ 漂白剤を使った湿布法※で落とします。その後、洗浄操作を行い洗い流します。
黒い汚れ	●場所／便器のふち ●原因／カビによる汚れ	●お手入れ方法／ ・早めに トイレ用中性洗剤や、やわらかい布で水ふきして落としましょう。 ・ガンコな汚れ 漂白剤を使った湿布法※で落とします。その後、洗浄操作を行い洗い流します。
バリウム （医療用造影剤）	●場所／便器	●お手入れ方法／ ・早めに トイレ用中性洗剤で落としましょう。

※湿布法：便器内の水を排出した後、汚れの部分にトイレットペーパーを敷き、市販のトイレ用漂白剤を吹きつけてパックします。
浄化槽をご使用の場合は湿布法に使用したトイレットペーパーを流さないでください。
まわりをふいて漂白剤がなるべく浄化槽へ流れないようにしてください。

◎お勧めの洗剤と道具

●トイレ用中性洗剤
・日ごろのお手入れに使います。

●トイレ用漂白剤
・ガンコな黒ずみと黄ばみを落とします。



●トイレ用ブラシ
・ＰＰ(ポリプロピレン)製

洗浄便座部のお手入れ

⚠警告

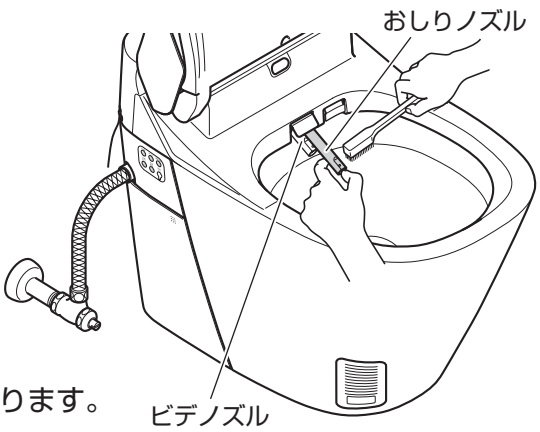
禁止

本体や電源プラグに水をかけない
スピーカー開口部に水をかけない（CH1001のみ）
感電や火災の原因になります。

- やわらかい布で水ふきし、よく絞った布でふき取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤をやわらかい布に含ませてふき取り、その後、水ふきし、最後によく絞った布でふき取ってください。
- クレンザーや研磨剤の入っている洗剤は、温水洗浄便座本体や便座、便ふたを傷つけますので使用しないでください。
- 酸性やアルカリ性の洗剤は温水洗浄便座内の金属部分を腐食させるおそれがありますので、絶対に使用しないでください。

お手入れ（洗浄ノズル・脱臭フィルター）

洗浄ノズルのお手入れ（ブラシ掃除）



手動ノズル洗浄 を押すごとに、おしりノズル、ビデノズルの順にノズルが出ます。
もう一度 手動ノズル洗浄 を押すと、ビデノズルが戻ります。
（ノズルは、約3分で自動的に戻ります。）

- ノズルを軽く手で支え、歯ブラシなどで洗ってください。
- ノズルを支えずにブラシでこすると、ノズルが折れるおそれがあります。

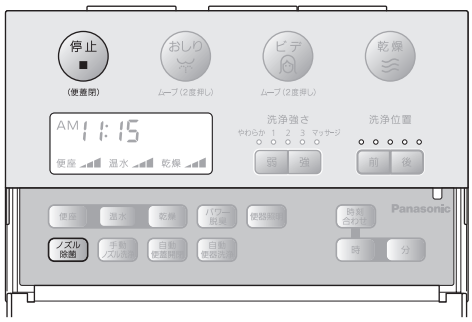
お願い！

- ノズルを曲げないようご注意ください。
- ノズルを無理に手で引っ張り出さないでください。故障の原因となります。もし、誤って引っ張り出した場合は、漏電しゃ断器のプラグをコンセントから抜き、30秒ほど待ってから再び、漏電しゃ断器のプラグを差し込んでください。
- 途中で中断する場合は 停止 を押してください。

洗浄ノズルのお手入れ（ノズル除菌クリーニングのしかた※週一回）

約60℃のお湯でノズルを洗ったのち、強い水量で仕上げ洗いをします。
便座に座らず ノズル除菌 を押す。

- 終了するまで約1分かかります。



お知らせ

- ご使用のたびにノズルを水洗いしていますので、頻繁にノズル除菌クリーニングをする必要はありません。週1回を目安に使用してください。

⚠注意

禁止

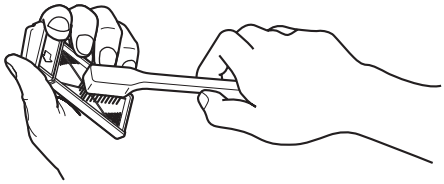
ノズル除菌クリーニング中はノズルに触れない。
やけどの原因になります。

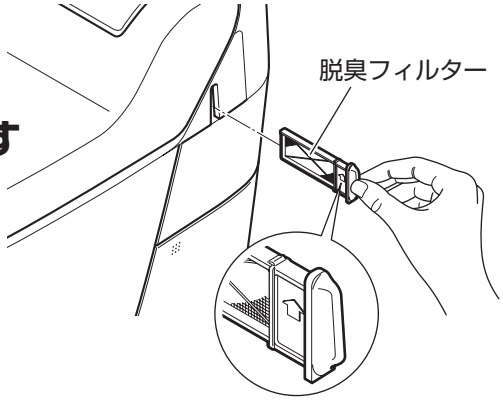
脱臭フィルターのお手入れ

- 脱臭フィルターがつまると、適正な性能が得られなくなります。
  効果が弱くなったり、脱臭音が大きくなったときは、脱臭フィルターのお手入れをしてください。

step 1 **つまみを持って引き出す**

step 2 **歯ブラシなどでほこりを取り除き、元に戻す**
※矢印を上にして挿入してください。

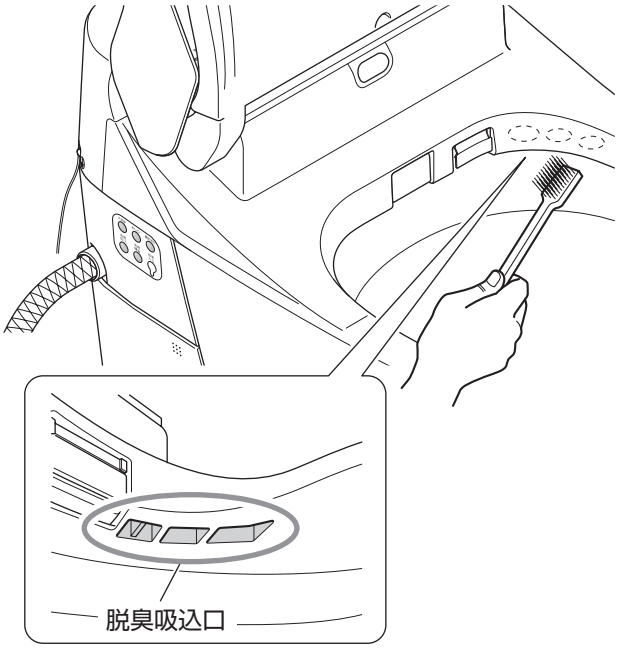




お手入れ（脱臭吸込口・センサー部・リモコン電池）

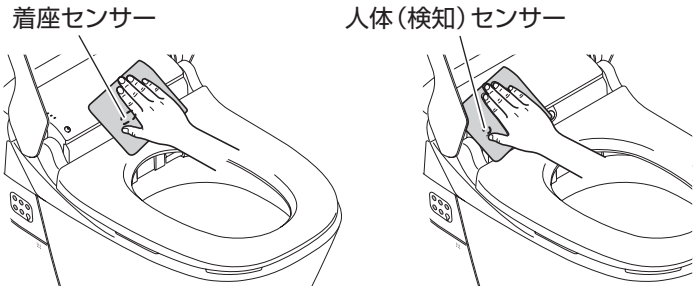
脱臭吸込口のお手入れ

- 脱臭吸込口がつまると適正な性能が得られなくなります。
  効果が弱くなったり、脱臭音が大きくなったときは脱臭吸込口のお手入れをしてください。
- 乾いた歯ブラシなどで綿ボコリやペーパークズなどを取り除いてください。



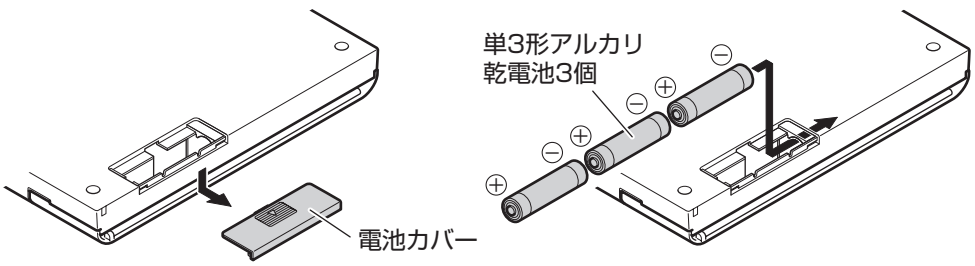
センサー部のお手入れ

- センサー部に水滴や汚れなどが付着していると、センサーの感度が悪くなり、人体を検知しない場合があります。
  やわらかい布などでふいてください。



リモコンの電池の取り替え

- リモコンは上側を少し手前に傾けながら引き上げると外れます。
- 電池容量が減ると右図のような表示がでますので、早めに新しい電池に交換してください。
- 新しい電池との取り替えの場合は、3個とも新しい単3形アルカリ乾電池に取り替えください。
  （⊕⊖ を正しく入れてください。）
- 電池寿命は約1年です。
- 長期間使用しない時は、電池を取り出してください。



⚠注意

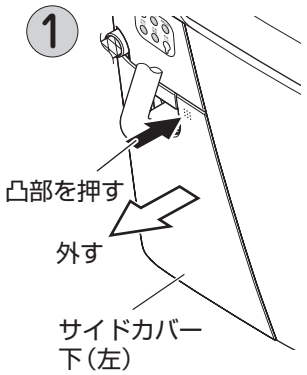
禁止

- **新旧、異種の電池は使用しないでください。**
- **⊕⊖を間違えないようにしてください。**
  電池の液もれによる火災や周囲汚損の原因になります。

お手入れ（洗剤補充のしかた）

洗剤の補充のしかた

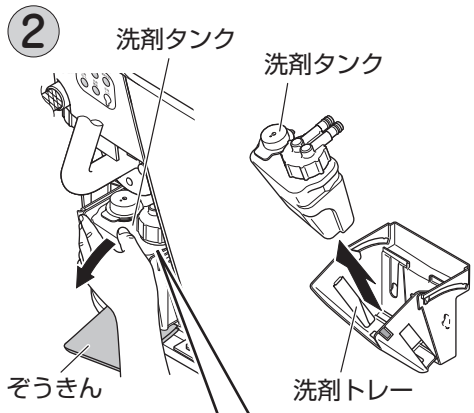
step 1 向かって左側のサイドカバー下の凸部を押し、上へ持ち上げるようにして外す

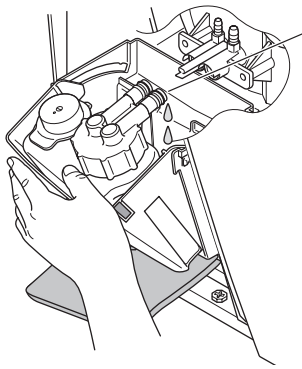


step 2 洗剤タンクを取り出す

① 洗剤タンク上部に指をかけて手前側にたおす。
※洗剤タンクの下にぞうきんを置いてください。
洗剤が垂れる場合があります。

② 洗剤タンクを洗剤トレーより取り出す。





洗剤タンクを取り出す際に差し込み口から洗剤が垂れてきます。
洗剤が循環するホース内に残った洗剤が垂れてくるためです。

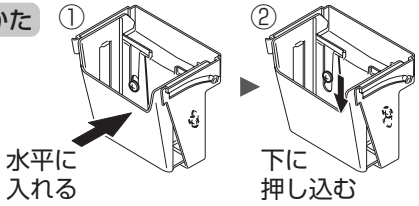
お願い
洗剤タンクに垂れた洗剤はきれいにふき取ってください。

補足

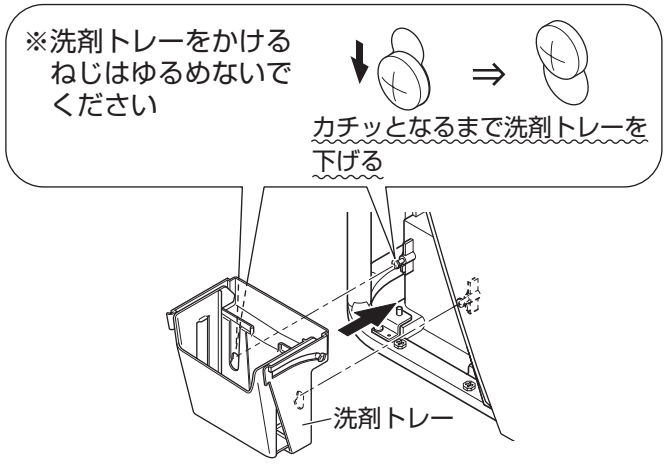
洗剤トレーは本体から外して水洗いし、洗剤を落としてから取り付けてください。

外しかた

取り付けかた



※洗剤トレーをかけるねじはゆるめないでください



step 3 キャップを外し、台所用合成洗剤を補充する

※他の洗剤を使用すると故障する可能性があります。

※補充のときには、ごみ・ほこりが入らないようにご注意ください。

禁止洗剤

酸性およびアルカリ性のトイレ用洗剤は、使用しないでください。
故障の原因になります。

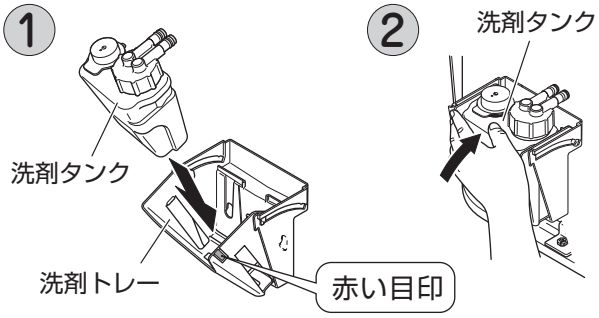
step 4 キャップをして、洗剤タンクを取り付ける

① 洗剤タンクを洗剤トレーに入れてください。

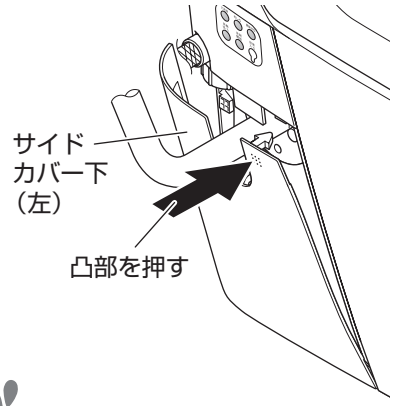
② 洗剤トレーの赤い目印が見えなくなるまで押し込む。

ご注意

洗剤タンクはしっかり奥まで差し込んでください。
液もれや洗浄不良（泡が出ない）の原因となります。



step 5 サイドカバー下の凸部を押して取り付ける

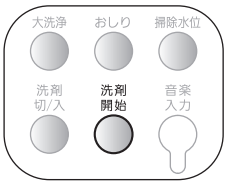


step 6 本体サブスイッチの 洗剤開始 を押す（約30秒後「ピー」となります）

※洗剤補充後すぐに、洗浄水に洗剤が投入されます。

※洗剤開始ボタンを押した当初数回の洗浄では、泡の量が増加する場合があります。
（故障ではありません。）

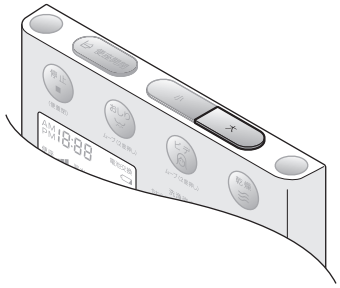
本体サブスイッチ（CH1001）



お願い！

洗剤開始ボタンは必ず押して洗剤を循環させてください。
この操作を行わないと洗剤が投入されません。
（泡が出ません。）

step 7 リモコンの 大 を押し、洗浄後、水面に洗剤の泡が浮いていることを確認する



洗剤タンクへの補充は、台所用中性洗剤をご使用ください。

■ 使用する洗剤

- 市販の台所用中性洗剤をご使用ください。
- 洗剤タンクの容量は300ccです。
  洗剤は薄めず原液を使用してください。
  十分な洗剤効果が得られなくなります。

■ 使用できない洗剤

- トイレ用洗剤、ジェルタイプの洗剤や「ヤシの実洗剤」などの天然の材料としている洗剤は効果が得られません。
- 洗剤タンクにはトイレ用洗剤やその他の酸性・アルカリ・塩素系洗剤は使用できません。
  （故障の原因となります。）

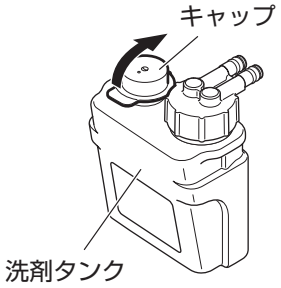
■ お願い

- 種類の異なる洗剤は混ぜないでください。
  異なる洗剤を補充する場合は、事前に洗剤タンクの水洗いと本体内水循環をしてから補充してください。
  （30ページ参照）

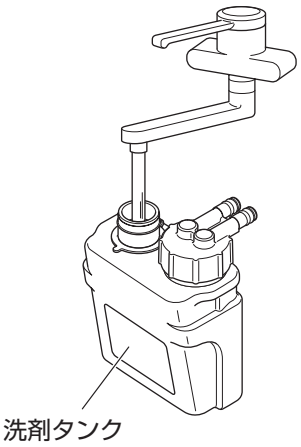
洗剤タンクの水洗いと本体内水循環のしかた

step 1
洗剤タンクを取り出す
「洗剤の補充のしかた」(28ページ参照)

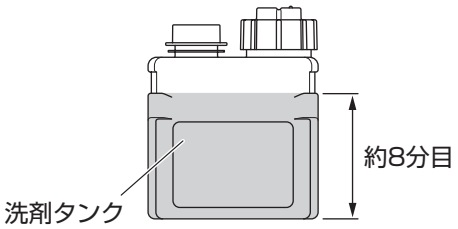
step 2
洗剤キャップを外す



step 3
洗剤タンクを水洗いする
※洗剤タンク内と注ぎ口周辺の泡がなくなるまで水洗いをしてください。

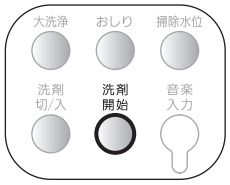


step 4
洗剤タンク内に水道水を8分目まで入れ、洗剤タンクを便器に取り付ける



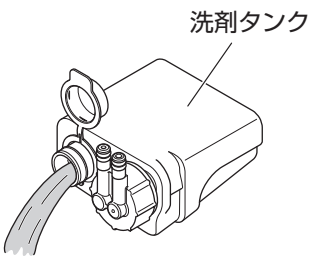
step 5
本体サブスイッチの 洗剤開始 を押し、本体に水を循環させる
※約30秒後に「ピー」と鳴り、操作が完了します。

操作完了後、再度 洗剤開始 を押す
※合計2回水循環を行います。



本体サブスイッチ

step 6
洗剤タンクを便器から取り外し、洗剤タンク内の水を抜いてから、再度本体にセットする（29ページ参照）
※洗剤タンク差し込み口から水が垂れる場合がありますので、ぞうきんなどでふき取ってください。



トラブルの予防と対処方法

凍結防止についてのお願い

凍結すると給水ホースや本体が破損し、水漏れをおこすことがあります。
凍結のおそれのある場合は、
電源ランプが点灯していることを確認し、便座温度スイッチを「高」にし、暖房器具でトイレ内を暖房してください。(CH1003、CH1009のみ)
(設定方法は17ページをご覧ください。)

⚠注意

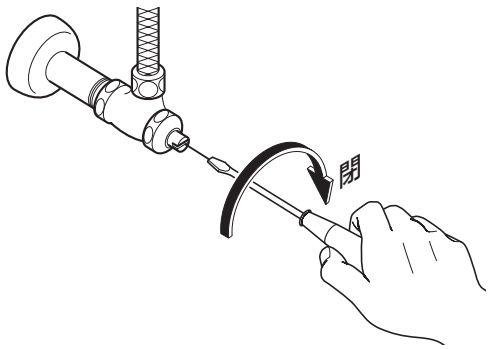
必ず守る

凍結するおそれのある場合は、必ず水抜きしてください。
- 凍結すると配管、本体内部が破損して水漏れの原因になります。

◎寒冷地仕様の場合　※商品品番末尾に「7」がついています。

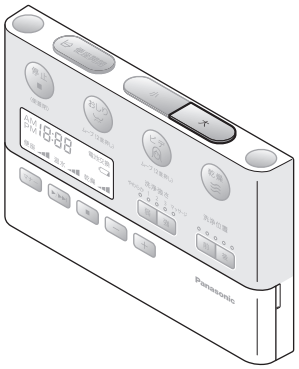
給水ホースの水抜きをし、便器の凍結防止ヒーターで便器の溜め水を保温します。
給水配管に水抜きがある場合は、その水抜き栓を開いてください。

step 1　止水栓を閉める

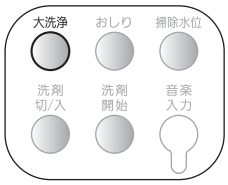


step 2　リモコンの 大 または、本体サブスイッチの 大洗浄 を押す

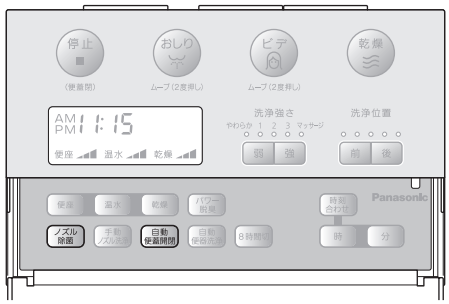
約4秒後にブザー音が「ピッピッピッ、ピッピッピッ」と鳴り、便器給水管の水抜きを行います。



本体サブスイッチ
(CH1001)



step 3　リモコン副操作パネルの ノズル除菌 と 自動便器洗浄 を同時に2秒間押す
ブザー音が「ピッ」と鳴り、約5秒間便座内の水抜きを行います



step 4　水抜きが終わったら、凍結防止ヒータープラグを差し込む

✳凍結防止ヒーターについて

便器の凍結防止ヒーターの凍結防止限界温度は、−15℃です。トイレルーム内の温度が−15℃以下になる場合は、暖房器具などで、トイレルーム内を−15℃以上に保ってください。
※凍結のおそれのない場合は、連結防止ヒータープラグを抜いてください。

⚠注意

禁　止

凍結防止ヒーターを使用する場合は8時間切スイッチは使用しないでください。
- 便ふた部の結露の原因となります。
- 凍結防止ヒーターを使用して便ふたに結露が発生する場合は、便ふたを常時開にしてご使用ください。(設定方法は35ページ参照)

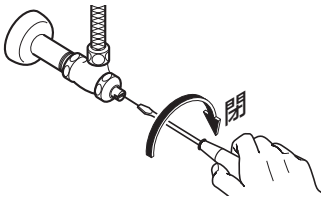
暖房器具を便器に近づけないでください。
- 便器の変形・破損による、けがや水漏れの原因となります。
  特にハロゲンヒータータイプの暖房器具は、便器から1m以上離してご使用ください。

ストレーナ(ごみ取りフィルター)の掃除

- ストレーナに水アカやごみなどがつまると適正な性能が得られなくなります。洗浄水の出が悪くなったときは、ストレーナの掃除をしてください。

※自動便蓋開閉機能を解除すると、作業がやりやすくなります

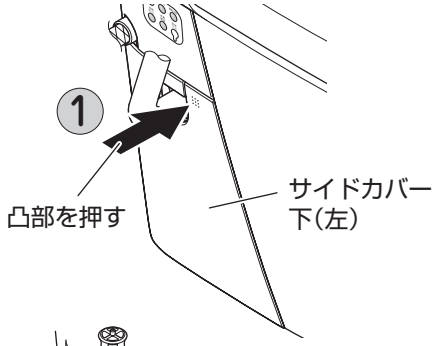
step 1 止水栓を閉める



step 2 サイドカバー下を外す

① 向かって左側のサイドカバー下の凸部を押す。

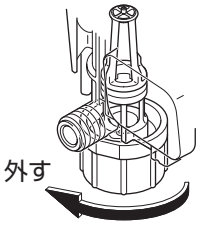
② サイドカバー下を外す。



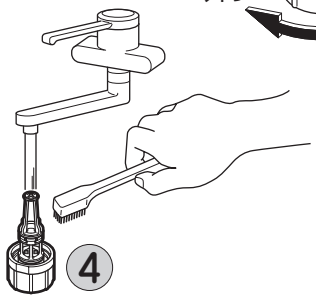
step 3 ストレーナふたを外す

※ストレーナふたの取り外しの際に指のはさみこみにご注意ください。

※取り外す時は、約 50cc 程度水が出ますので、雑巾などをお使いください。

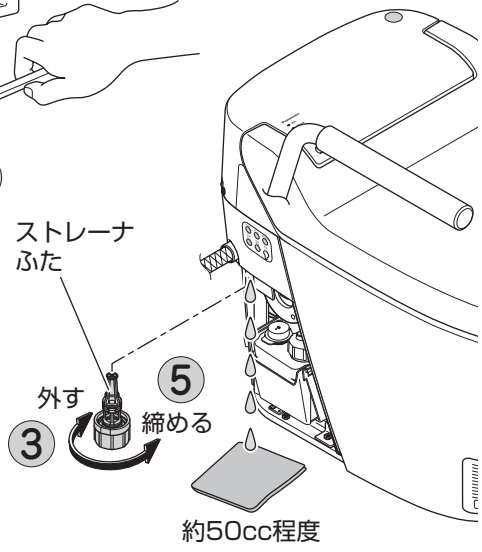


step 4 ストレーナを取り出しブラシなどを使いきれいに水洗いする



step 5 ストレーナふたを元通りにしっかり締めつける

ストレーナふたの締めつけの際に指のはさみこみにご注意ください。

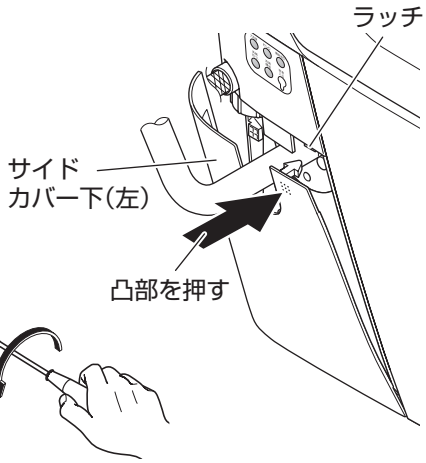


⚠注意

ストレーナふたはしっかりと締めつけてください。
締めつけないと水漏れの原因となります。

step 6 サイドカバーを元通り取り付ける

サイドカバー下の凸部をラッチに合わせて押す。
カチッと音が鳴り、ロックされます。

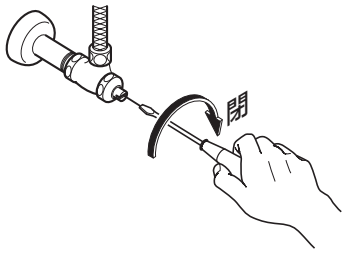


step 7 止水栓を開け水漏れがないことを確認してください

長期間使用しない場合

長期間（7日以上）使用しないときは、事前に洗剤タンクの水洗いと本体内水循環をしてください。（30ページ）
次に本体の水を抜き、漏電しゃ断器（プラグ付）とリモコンの電池を抜いてください。
※一般地仕様の止水栓および便器本体内の水抜き方法については下記をご覧ください。

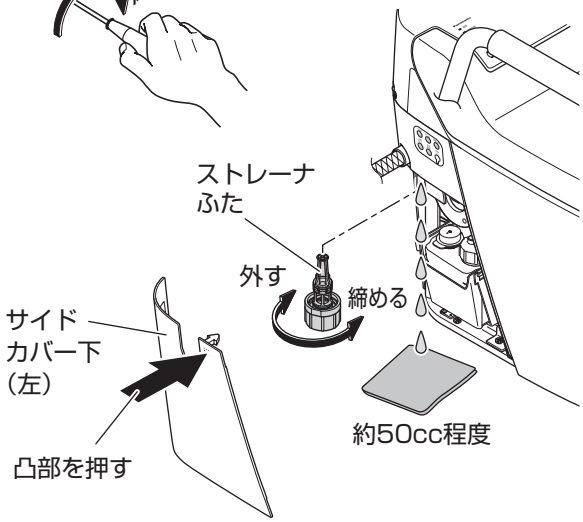
step 1 止水栓を閉める



step 2 左側のサイドカバー下を外す

step 3 ストレーナふたを外す

※ストレーナふたの取り外しの際に指のはさみこみにご注意ください。
※取り外す時は、約 50cc 程度水が出ますので、雑巾などをお使いください。



step 4 リモコンの 大 を押す

step 5 リモコン副操作パネルの ノズル除菌 と 自動便器洗浄 を同時に2秒間押す

step 6 サイドカバーを元通り取り付ける

水抜きが終わったら、元通りストレーナふたを締めつけて、サイドカバー下を取り付ける。

再び使用するときは、止水栓を開き、給水してください。

⚠注意

ストレーナふたはしっかりと締めつけてください。
しっかりと締めつけないと水漏れの原因となります。

便器が詰まった場合

⚠注意

禁止

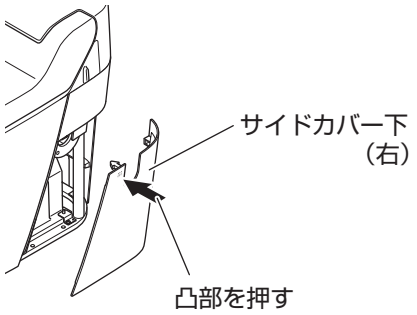
便器が詰まった場合は、続けて洗浄操作しないでください。
（便器から汚水があふれる原因となります。）

- 便器が詰まった時には、市販のラバーカップを使用し、詰まりを取り除いてください。
- ラバーカップはホームセンター、スーパー、金物店などで販売されています。便器が詰まった時のために、常備していただくことをお薦めします。
- ラバーカップが使用できるのは、汚物やトイレットペーパーが詰まった時です。それ以外の物（ボールペン、生理用品などの固形の異物）が詰まった場合は、取れませんので、お近くの工事店にご相談ください。

ラバーカップの使用方法

- 排水口をふさいで強く押したり引いたりしてください。この時、汚れが飛散する事がありますのでビニールシートなどでカバーしてから使用されることをおすすめします。

停電時または断水時の便器洗浄のしかた



step 1 漏電しゃ断器（プラグ付）のプラグを抜く

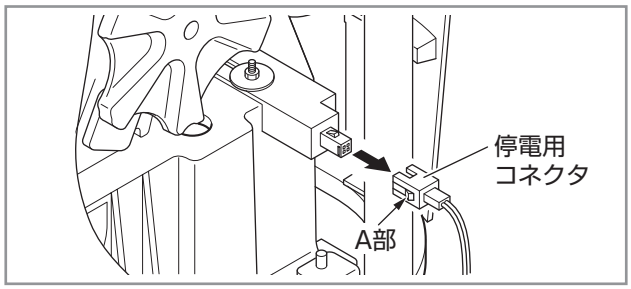
（漏電しゃ断器（プラグ付）のプラグは必ず抜いて作業してください。）

step 2 向かって右側のサイドカバー下を外す

step 3 停電用コネクタを抜く

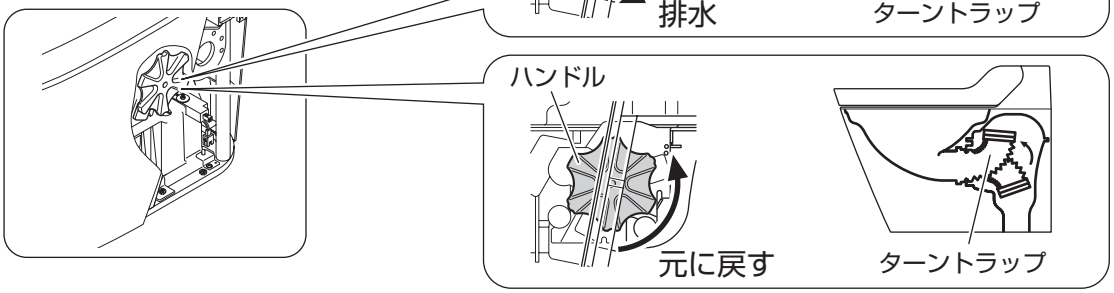
A部を押してコネクタを抜く。

※停電用コネクタは必ず抜いて作業してください。
コネクタを抜かなければstep**4**の停電用ハンドル操作が重くなります。



step 4 点検口内の停電用ハンドルを回し排水する

① ハンドルを約半回転回し排水する。
（ターントラップが下を向き排水します。）



② ハンドルを約半回転戻す。（ターントラップが元に戻ります。）

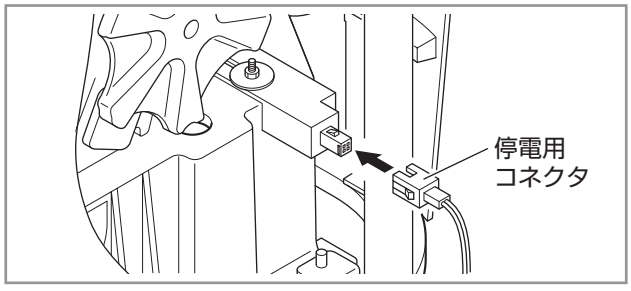
※ハンドルを回しすぎると破損のおそれがあります。

step 5 便器洗浄面にバケツ（約5L）で水を溜める

※必ず水を加えてください。水を加えないと悪臭の原因となります。
万が一、汚物が戻ってきた場合は、再度step**4**から操作してください。

step 6 停電、断水が復帰したら、コネクタを元通りに挿入しサイドカバー下を取り付ける

※コネクタはしっかりと挿入してください。

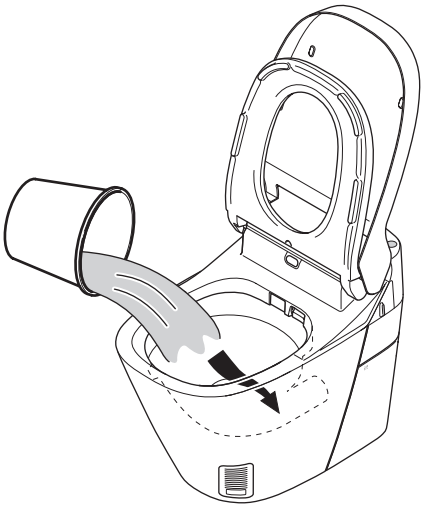


step 7 漏電しゃ断器（プラグ付）のプラグをコンセントに差し込み、本体サブスイッチ大洗浄のまたはリモコン［大］を押して、便器洗浄面への給水を行う

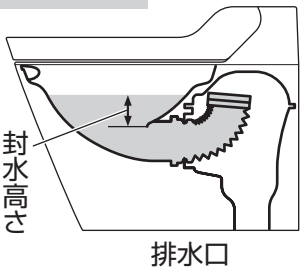
（通常の使用状態に戻ります。）

便器洗浄中に停電が起こった場合

万一、便器洗浄中に停電などが起こった場合、バケツなどで、便器洗浄面に水を入れて封水してください。



✳封水について



☆封水高さは、下水管からの有害ガス、悪臭、害虫の侵入を防ぐために必ず50mm以上確保してください。

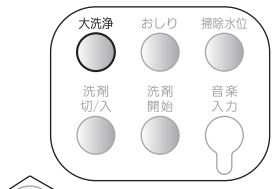
万一のトラブルなどにより封水が確保できない場合

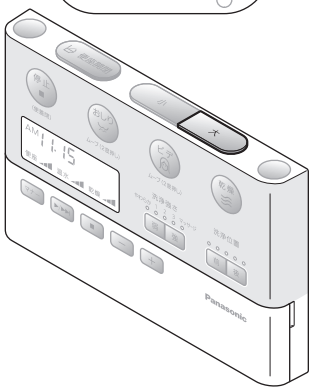
下記のいずれかの方法により封水を確保してください。

- 本体サブスイッチの（大洗浄）または、リモコンの［大］を押す。
- 漏電しゃ断器のプラグを一度コンセントから抜いてから10秒後に再びコンセントに差し込む。
- ストレーナの掃除（32ページ参照）を行う。

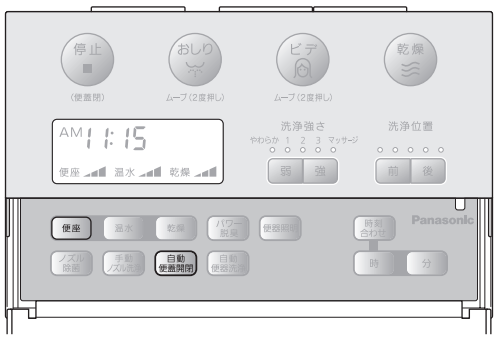
※それでも封水が確保できない場合はビニール袋（幅15～20cm）に水を入れて排水口をふさいで、修理ご相談センター（裏表紙ご参照）にご連絡ください。

本体サブスイッチ
（CH1001）





便ふた裏が結露した場合



以下の方法で、便ふたを常に開いた状態にしてください。

① 便ふたを開ける。

② ［便座］と［自動便蓋開閉］を同時に約2秒間押す。
（ブザー音が「ピー」と鳴ります。）

③ ［自動便蓋開閉］を押し、自動便蓋開閉を解除する。（ブザー音が「ピー」と鳴ります。）

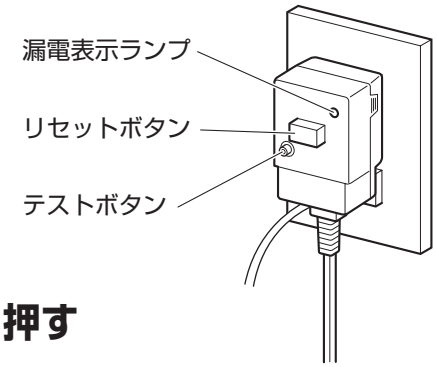
自動便蓋開閉を再度設定する場合

① ［便座］と［自動便蓋開閉］を同時に約2秒間押す。（ブザー音が「ピッ」と鳴ります。）

② ［自動便蓋開閉］を押し、自動便蓋開閉の予約を設定する。（ブザー音が「ピッ」と鳴ります。）

定期点検

漏電しゃ断器（プラグ付）の点検



- 1か月に1～2回お客さまご自身で行ってください。
- そのままにしておくと、感電の原因になります。

step 1 テストボタンを押す

正常なときは、漏電表示ランプが点灯します。

step 2 リセットボタンを「カチッ」と音がするまで強く押す

- 正常なときは、漏電表示ランプが消灯します。
- 本体の電源ランプが約 10 秒間点滅した後点灯に変わります。

点検時以外に、テストボタン、リセットボタンを押さないでください。

逆流防止装置の定期的な点検のお願い（有料）

逆流防止装置（逆流防止弁、バキュームブレーカー）は、5年を目安に定期点検を受けていただくことをおすすめします。
なお、点検は、修理ご相談センター（裏表紙ご参照）にお問い合わせください。

故障かな?

● 修理を依頼される前に下記をお読みください。

現　　状	原　　因	処　　置
おしり・ビデの洗浄水が出ない。	●洗浄便座内部の凍結、給水ホースの凍結。	●トイレルーム内を暖房する。（2時間位）そのまま運転を続けると故障する場合があります。
	●連続使用（2分以上）により、タイマーが働いてストップした。	●再度 おしり 又は、ビデ を押す。
	●止水栓が閉まっている。	●止水栓を開く。
	●ノズルの詰まり。	●掃除をする。（26ページ参照）
	●衣服などでリモコン受光部がおおわれている。	●おおいをとる。
	●リモコン発信部、リモコン受光部が汚れている。	●リモコン受光部（本体側）・リモコン発信部をやわらかいきれいな布でふいてください。
	●黒色の衣服を着ている。	●着座センサーは黒色の着衣では検知することができません。
	●便座の前側に座っている。	●なるだけ深く腰かけてご使用ください。
	●着座センサーに水滴や汚れがついている。	●水滴や汚れをふきとる。
おしり・ビデの洗浄水勢が弱い。	●水道水圧が低い。	●洗浄強さ「3」で使用する。 適正な水圧（動水圧）が確保されているかを確認してください。 （販売店・施工業者へお問い合せください。）
	●洗浄強さが「1」になっている。	●洗浄強さ「3」で使用する。
	●止水栓が完全に開いていない。	●止水栓を開く。
	●ストレーナの詰まり。	●ストレーナを掃除する。（32ページ参照）
	●ノズルの詰まり。	●掃除をする。（26ページ参照）

現　　状	原　　因	処　　置
おしり・ビデの洗浄水が暖かくない。	●温水温度調節が「切」または「低め」になっている。	●好みの温度に調節する。
座ったときに便座が冷たく、しばらくすると暖かくなる。（CH1001、CH1002のみ）	――	●入室を検知してから、便座を瞬間的にあたためますが、「便座あたためランプ」が点灯するまで約6秒かかります。「便座あたためランプ」が点灯してからお座りください。 ●便座に座ってすぐにおしり・ビデ洗浄を行うと、暖房便座の電源が切れて、便座が冷たくなったと感じる場合があります。
暖房便座が暖かくない。（CH1003、CH1009のみ）	●便座温度調節が「切」または「低め」になっている。	●好みの温度に調節する。約12分で設定温度になります。
着座直後及び洗浄中、小さい共鳴音がする。	●水ポンプの回転音です。異常ではありません。	――
脱臭が作動しない。	●脱臭予約していない。 ●着座センサーに水滴や汚れがついている。	●便座 と パワー脱臭 を同時に約2秒間押す。 ●やわらかいきれいな布でふいてください。
脱臭が効かなくなった。 脱臭がうるさくなった。	●ほこりなどで目づまりしている。	●脱臭フィルターを掃除する。（26ページ参照） ●脱臭吸込口を掃除する。（27ページ参照）
脱臭が止まらない。	●着座センサーに水滴や汚れがついている。	●やわらかいきれいな布でふいてください。
サウンドが鳴りっぱなし。	●着座センサーに水滴や汚れがついている。	●やわらかいきれいな布でふいてください。
乾燥の温風が出ない。（CH1001、CH1002、CH1003のみ）	●連続使用（2分以上）になり、タイマーが働いてストップした。 ●着座センサーに水滴や汚れがついている。	●再度 乾燥 を押す。 ●やわらかいきれいな布でふいてください。
水道音が大きい。	●水道水圧が高い。	●止水栓を絞る。
電源ランプが点滅している。	●一時的に水圧が下がり、本体に水が供給されていない。	●ノズル除菌を押し、通水してください。ノズル除菌は約1分間で終了します。
リモコンが作動しない。	●リモコン受光部が衣服などでふさがれている。 ●リモコンの電池切れ。 ●電池の⊕⊖が逆になっている。 ●リモコンが本体から遠くに取り付いている。 ●リモコン受光部（本体側）・リモコン発信部に直射日光が当たっている。 ●リモコン受光部（本体側）・リモコン発信部の上方に棚などの障害物がある。 ●リモコン受光部（本体側）・リモコン発信部が汚れている。 ●部屋の壁が黒色などの濃い色である。 ●着座センサーに水滴や汚れがついている。	●衣服などを取り除いてください。 ●新しい電池を交換してください。 ●正しく入れてください。 ●リモコンの取付位置を変更してください。 ●カーテンなどで直射日光が当たらないようにしてください。 ●障害物を取り除いてください。 ●リモコン受光部（本体側）・リモコン発信部をやわらかいきれいな布でふいてください。 ●トイレルームの壁の色を明るい色に変更してください。 ●やわらかいきれいな布でふいてください。
自動便器洗浄ができない。	●予約をしていない。（本体の「自動洗浄ランプ」が消えている。） ●10秒以上座っていない。 ●着座センサーが汚れている。 ●黒色の衣服を着ている。 ●便座の前側に座っている。	● 自動便器洗浄 スイッチを押し、予約をする。 ●10秒以上着座してください。 ●着座センサーをやわらかいきれいな布でふいてください。 ●着座センサーは黒色の着衣では検知することができません。 ●なるだけ深く腰かけてご使用ください。
便座・便ふたがあがりきらない。	●便座・便ふたを中途半端な位置で開閉した。	●電源プラグを抜いて20秒後にもう一度電源プラグを差し込んでください。
洗剤の泡が残らない。	●予約をしていない。 ●洗剤がなくなった。	● 洗剤切/入 スイッチを押す。 ●洗剤を補充する。（28ページ参照）

現　　状	原　　因	処　　置
本体から「ピー、ピー、ピー」とブザー音が鳴り、便器洗浄ができなくなった。 （本体表示部の自動洗浄ランプが点滅している。）	●ターントラップの位置がずれている。 ●停電用コネクタが抜けている。 ●止水栓が閉じている。 ●停電中または断水中。 ●ストレーナがつまっている。 ●使用水道圧（動水圧）が低い。	●停電用コネクタを抜いて、停電用ハンドルを排水側に少し回してから、停電用コネクタを挿入してください。 ●停電用コネクタを挿入してください。 ●止水栓を開ける。 ●「停電時または断水時の便器洗浄のしかた」を行ってください。（34ページ参照） ●ストレーナの掃除をしてください。（32ページ参照） ●適正な水圧（動水圧）が確保されているかを確認してください。 （販売店・施工業者へお問い合せください。）
便器の洗浄水が止まらない。	●給水弁の故障。	●至急止水栓を閉じて販売店・施工業者へお問い合わせください。
勝手に便器洗浄する。	●着座センサーに水滴や汚れがついている。	●やわらかいきれいな布でふいてください。
便器洗浄面の溜め水が少ない。	●止水栓の絞りすぎ。 ●ストレーナがつまっている。	●止水栓を開く。 ●ストレーナの掃除をしてください。（32ページ参照）
便器照明がつかない。	●予約をしていない。	●便器照明を押す。
便ふたが自動開閉しない。	●予約をしていない。 ●トイレルーム内の温度が高い。 ●漏電しゃ断器（プラグ付）のプラグを差し込んだ時、自動開閉予約を設定した直後である。 ●便ふたをリモコンや手で閉めた。 ●人体（検知）センサーが汚れている。 ●着座センサーに水滴や汚れがついている。	●自動便蓋開閉スイッチを押し、予約をする。 ●窓や戸を開けて換気をしてください。 ●左記の場合、急に便ふたが開くことがないようにするためです。 ●トイレから出る時に、閉めたふたが開いてしまわないようにするために、約1分間は人体（検知）センサーがはたらきません。 ●人体（検知）センサーをやわらかい綺麗な布でふいてください。 ●やわらかいきれいな布でふいてください。
ノズルが動く際に音がする。 （ゴロゴロ、ギュルギュルなどの音）	――――――――――	●構造上やむをえず発生するもので機能などに影響はありません。
便ふたの裏が結露している。	●凍結防止ヒーターが作動している。 ●凍結防止ヒーター使用時に8時間切（CH1003、CH1009寒冷地仕様のみ）が動作している。 ●換気状態および、水温や気温の条件により発生することがあります。	●8時間切スイッチを押し、「切」にする。 ●便ふたを常に開いた状態にする。 （35ページ参照） ●便座温度設定を「切」以外にし、換気にご配慮お願いします。
停電用ハンドル操作が固くてまわらない。	●停電用コネクタを抜いていない。	●停電用コネクタを抜く。（34ページ参照）
洗剤の泡が出ない。	●洗剤切/入を「切」にしている。 ●洗剤タンク脱着後に洗剤開始を押していない。 ●洗剤タンクに洗剤が入っていない。	●洗剤切/入を「入」にしてください。 （15ページ参照） ●洗剤開始を押してください。 ●洗剤タンクに洗剤を入れてください。 （28～29ページ参照）
小洗浄の時に泡が出ない。	●洗剤投入パターンが大洗浄時のみ洗剤を入れる設定になっている。 （自動便器洗浄設定時は着座時間が50秒以下の場合、小洗浄となります。）	●洗剤投入パターンを大小洗浄時入れる設定にしてください。 （15ページ参照）
便器本体の電源が入らない。	●漏電しゃ断器（プラグ付）のリセットボタンを押していない。	●漏電しゃ断器（プラグ付）のリセットボタンを「カチッ」と音がするまで強く押してください。（36ページ参照）
便器洗浄水の勢いが弱い。 便器洗浄水がスパイラル水流にならない。	●止水栓の絞りすぎ。 ●ストレーナーがつまっている。 ●使用水道圧（動水圧）が低い。	●止水栓を開く。 ●ストレーナーの掃除をしてください。 （32ページ参照） ●適正な水圧（動水圧）が確保されているかを確認してください。 （販売店・施工業者へお問い合せください。）

定格・仕様

品番		タイプ1	タイプ2	タイプ3	タイプ9
		CH1001△(M)□□(7)	CH1002△(M)□□(7)	CH1003△(M)□□(7)	CH1009△(M)□□(7)
電源		AC100V 50/60Hz			
最大消費電力		1300W（寒冷地は、1323W）待機時消費電力2.5W			
区分※1		瞬間式			
年間消費電力量※2		99kWh/年		133kWh/年（173kWh/年）	
電源コード長さ		1.0m			
洗浄装置	温水温度	4段階調節（水温～約40℃）			
	吐出量 おしり	最大0.5L/分			
	吐出量 ビデ	最大0.5L/分			
	熱交換方式	瞬間式			
	ヒーター容量	1225W（瞬間式）			
	保護装置	温度過昇防止装置、温度ヒューズ			
乾燥装置	風量	0.3m³/分			―――
	風温	3段階調整（約20℃～約60℃）			
	乾燥ヒーター	390W			
	保護装置	温度過昇防止装置、温度ヒューズ			
脱臭	脱臭剤	触媒脱臭ハニカム			
	風量	0.1m³/分（パワー脱臭0.15m³/分）			
	消費電力	2.8W（パワー脱臭5.5W）			
暖房便座	表面温度	4段階調節（室温～約40℃）		4段階調節（室温～約40℃）	
	便座ヒーター	安定時：62W立ち上がり時：1200W		53W	
	保護装置	温度過昇防止装置		温度ヒューズ	
	閉止機構	電動開閉機構			バタンレス機構（電動開閉なし）
	便座サイズ	エロンゲート（大型）			
便器	洗浄方式	ターントラップ式			
	洗浄水量	大　約5.7L　小　約4.5L（動水圧0.1MPa時）			
	消費電力	12W			
	凍結防止ヒーター	AC100V 50/60Hz 23W（電源コード有効長　約1.0m）[寒冷地仕様のみ]			
	保護装置	バイメタルスイッチ、温度ヒューズ［寒冷地仕様のみ］			
リモコン		ワイヤレスリモコン（単3形アルカリ乾電池3個）			
使用水道圧範囲		69～735kPa{0.7～7.5kgf/cm²}※			
保護装置		漏電しゃ断器、着座センサー、逆流防止装置			
給水温度範囲		0～35℃			
周囲使用温度範囲		0～40℃ ※3			
寸法　巾x奥行x高さ		396×650×498		585×650×661（アームレスト付）	
製品質量		アームなし 17kg		アームなし　16kg	
		アーム付　21kg		アーム付　20kg	

※水道圧が98kPa {1.0kgf/cm²} 以下では、おしり・ビデ洗浄の洗浄水量が少なくなる場合があります。
※1 省エネ法（2012年度基準）の区分
※2 年間消費電力量は4人家族（男性2人、女性2人）で使用の場合。[室温：5℃（冬季）·15℃（春秋季）·28℃（夏季）、水温：15℃]おしり洗浄使用1日4回、ビデ洗浄使用1日8回、男性小用1日4回で省エネ法（2012年度基準）の測定方法に準拠し、標準品を測定して計算しました。（　）内は8時間切設定による節電をしない場合の年間消費電力量です。
※3 周囲温度が体温に近くなる（30℃以上）と、人体検知しにくくなります。

除菌する部分

ノズル（表面）	●試験機関 …（株）田辺R&Dサービス　●試験方法 …熱抵抗性試験法 ●除菌方法 …温水による洗浄

保証とアフターサービスについて（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

相談先がなく、お困りの場合は…
●修理は、「修理ご相談センター」へ！
●その他は、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）
お引渡し日・販売店名などの記入を確かめ、お買い上げの販売店から受け取り、保存してください。

保証期間：お引渡し日から電気部品1年間、その他2年間

■補修用性能部品の保有期間 7年
当社は、この温水洗浄組込型便器の機能を維持するために必要な部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

修理を依頼されるとき

まず、使用機器の電気・水道などの元を断ち、
お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

①品名　②品番　③お引渡し日
④異常の状況（できるだけ具体的に）

●**保証期間中は、**保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
●**保証期間を過ぎているときは、**修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
●**修理料金は次の内容で構成されています。**
【技術料】診断・修理・調整・点検などの費用です。
【部品代】修理に使用した部品および補助材料代です。
【出張料】お客様のご依頼により技術者を派遣する費用です。
●**一般住宅以外で使用された場合の故障および損傷に関しては、保証期間内でも有料修理となります。**

パナソニック電工お客様ご相談窓口のご案内

当社製品のお取扱い方法、お買い物、その他ご不明な点についてのご相談は

パナソニックお客様ご相談センター

●受付時間…365日／9:00～20:00

フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

●携帯電話・PHS等のご利用は…
☎06−6907−1187

消耗品・交換部品・後付パーツのご用命は　ハイ・パーツショップ

ナビダイヤル **0570-081-802**（ハイ パーツ）　全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

●携帯電話・PHS等のご利用は…
大阪 ☎ 06−6906−1224　　東京 ☎ 03−5392−7189 (転)
●受付時間…月～金：9:00～19:00　土・日・祝：9:00～17:00
(転)印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。
●ホームページ　http://www.sumu2.com/shop/parts/

修理のご用命は　修理ご相談センター

ナビダイヤル **0570-081-365**（ハイ 365日）　全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

●携帯電話・PHS等のご利用は…
大　阪 ☎06-6906-1090
札　幌 ☎011-261-6401 (転)　東　京 ☎03-5392-7190 (転)
名古屋 ☎052-551-7900 (転)　福　岡 ☎092-622-0531 (転)
●受付時間…365日　9:00～20:00
(転)印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。

【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】
・お客様の個人情報やご相談内容を、その対応や修理確認などのために利用し、残すことがあります。
・個人情報やご相談の記録を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
・ナンバーディスプレイを採用し、折り返し電話させていただくことがあります。
（お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。）

愛情点検　**長年ご使用の温水洗浄組込型便器の点検を！**

こんな症状はありませんか？
●電源コードを動かしたときに電気が入ったり、切れたりしませんか。
●本体・プラグ・電源コードや便座コードがさわれないほど熱くなっていませんか。
●コードにキズはありませんか。
●異常な臭い（焦げるような）や音が出ていませんか。
●触ると電気（ビリビリ）を感じることはありませんか。
●プラグ刃のがたつきがありませんか。

▶ このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、コンセントから漏電しゃ断器のプラグを抜いて、必ず販売店に点検を依頼してください。

パナソニック電工株式会社　水廻りシステム事業部
〒571-8686　大阪府門真市門真1048
© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2009
Ta1008-2089